データで見る 公立大学法人大阪府立大学

2012年9月



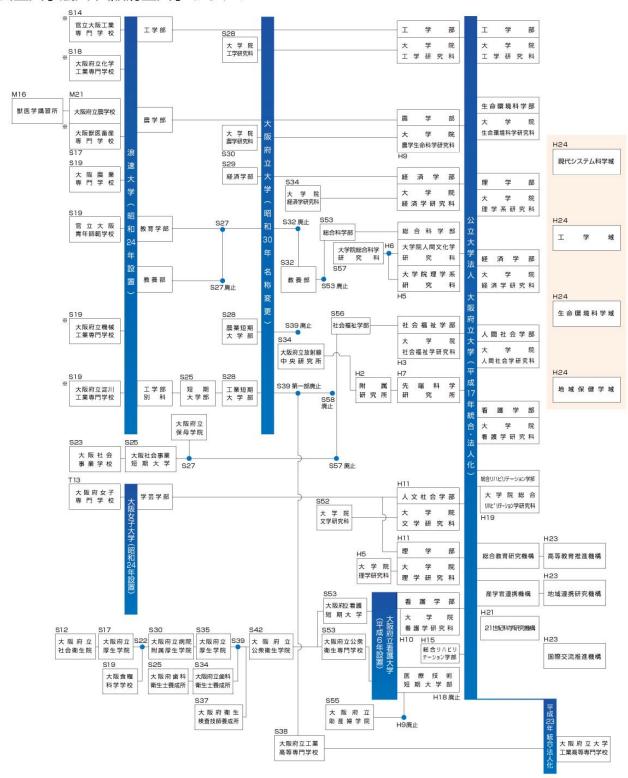
【目次】

	法人		10 卒業・就職等	42
1	 沿革図	2	1 学位授与者数	
2	組織図	•••3	2 就職者数(率)•府内就職者数	· <i>(率)</i>
3	役員•教職員数	4	3 就職支援イベント開催件数	
4	決算•予算	•••5	4 国家試験合格率	
5	基金	6	5 教員免許等資格取得状況	
6	施設	••••7	11 研究実績	46
7	エコキャンパスへの取組み	8	1 論文発表・学会発表等 2 被	<i>論文引用数</i>
	評価	•••9	<i>3 著書数</i>	
			12 教育補助金等プログラム	48
	大学		13 産学官連携	49
1		••••11	1 外部資金獲得状況	
2	教育研究組織	12	2 共同研究・受託研究(分野別)	
3		••••13	3 共同研究・受託研究(地域・規	· <i>模別)</i>
4	大学間連携	••••15	4 科研費等(分野別) 5 国プロ	ジェクト採択件数
	1 包括連携協定 2 単位互換		6 技術相談件数 7 知的財産	
	3 海外学術交流協定		8 大学発ベンチャー企業 9 均	
	4 ダブルディグリー(海外大学)		14 地域連携活動	••••54
5	教員等	••••17	1 審議会委員数 2 公開講座	<i>実施状況</i>
	1 教員数 2 研究員数		3 出前講座実施状況 4 高大	
	3 外国人招へい教員(ゲストプロフェッサー	.)	5 サテライト利用状況	
	4 教員の海外渡航 5 FD活動	•	15 大学ランキング	••••56
6	入試	••••21		
Ĭ	1 入試説明会等		高専	
	2 入学者選抜実施状況(学域)		1 理念	••••58
	3 入学者選抜実施状況(研究科)		2 教学組織	••••58
	4 入学者内訳(学域) 5 入学者内訳(研3	2科)	3 教員数	••••58
7	学生	••••28	4 入試	••••59
•	・一 1 学生数(学域・学部) 2 学生数(研究社		5 学生	••••59
	3 定員充足状況 4 社会人学生·聴講:		1 学生数 2 授業料減免·奨学.	
	5 留年者数 6 退学者数		3 インターンシップ参加者数	_
8	留学生	34	6 卒業・就職等	••••60
_	1 <i>留学生数</i>	· ·	7 産学官連携	••••61
	2 外国人学生に対するチューター数		8 地域連携活動	••••61
	3 留学生用宿舍		9 FD活動	62
	4 外国人留学生に対する修士・博士授与代	<i>‡数</i>		
9	学生支援	•••37		
-	· 一个:^ 1 授業料減免·奨学金 2 学生相談件数			
	3 授業アンケート 4 学長顕彰			
	5 学生の海外派遣			
	6 インターンシップ参加者数			
	7 大学院生の論文発表、学会発表等			
	8 校友会·後援会			

【法人】

1 沿革図

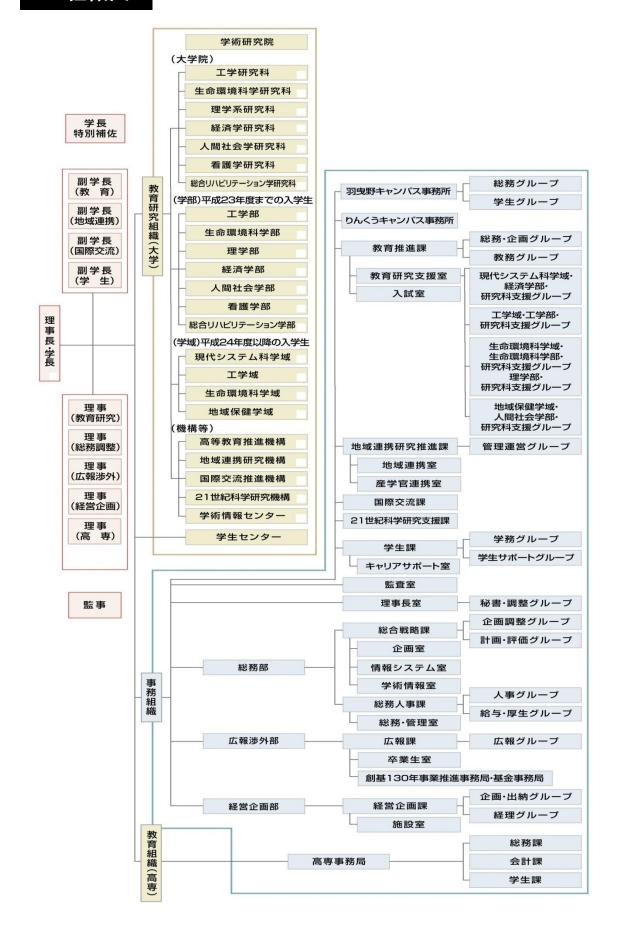
公立大学法人 大阪府立大学のあゆみ



※印の校名は浪速大学設置当時のもの

- · 大阪高等獣医学校(S17) → 大阪獣医畜産専門学校(S21)
- · 大阪高等工業学校(S14) → 大阪工業専門学校(S19)
- · 大阪府立堺高等工業学校(S18) → 大阪府立堺工業専門学校(S21) → 大阪府立化学工業専門学校(S21)
- · 大阪府立淀川高等工業学校(S19) → 大阪府立淀川工業専門学校(S21) → 大阪府立電機工業専門学校(S21) → 大阪府立淀川工業専門学校(S21)
- ・大阪府立航空高等工業学校(S19) → 大阪府立第三工業専門学校(S20) → 大阪府立機械工業専門学校(S21)

2 組織図



3 役員・教職員数

〇役員·教職員数

(各年度5月1日現在)

区分	H20	H21	H22	H23	H24
_ 役員(①)	8	8	8	8 (1)	8 (1)
理事長	1	1	1	1	1
理事	5	5	5	5 (1)	5 (1)
監事	2	2	2	2	2
常勤教員(②)	745	723	707	806 (78)	783 (76)
教授	273	267	264	304 (26)	305 (27)
准教授	228	228	227	272 (32)	272 (30)
講師	84	77	64	68 (16)	55 (14)
助教	159	150	151	157 (0)	147 (1)
助手	1	1	1	5 (4)	4(4)
非常勤教員(③)	327	343	364	375(56)	388 (56)
教員(②+③)	1072	1066	1071	1181 (134)	1171(131)
常勤職員(④)	225	214	211	195(12)	182 (12)
府派遣	196	182	170	79(12)	49(11)
法人採用	29	32	41	116(0)	133(1)
非常勤職員(⑤)	166	197	239	273(29)	257(30)
職員数(④+⑤)	391	411	450	468 (41)	439(42)
常勤教職員(②+④)	970	937	918	1001 (90)	965(88)

注)()は府大高専担当で、内数。

4 決算・予算

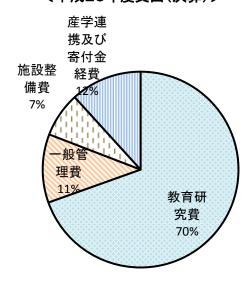
(百万円)

								(白万円)
	区分	H20	H21	H22		H23		H24
	巨刀	決算	決算	決算		決算		予算
ılσ	7							
収入						大学	高専	
運	営費交付金	10763	10,811	10,184	11,181	10,042	1,139	11,579
施詞	設整備費補助金	462	1,198	1,388	1,414	1,414	0	1,388
補具	助金等収入	130	872	1,568	0	0	0	0
自记	己収入	5217	5,397	5,551	5,841	5,600	241	5,666
	授業料及び 入学金検定料収入	4987	5,165	5,227	5,464	5,225	239	5,314
	財産処分収入	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入	230	232	324	377	375	2	352
	(財産貸付収入)	(39)	(36)	(43)	(44)		/	
	(獣医臨床センター収入)	(85)	(127)	(168)	(213)			
	(大学入試センター実施収入)	(12)	(14)	(21)	(13)			
	(公開講座収入)	(9)	(10)	(11)	(13)			
	(資金運用収入)	(5)	(6)	(5)	(3)			
	学連携等研究収入 び寄付金収入等	1908	2,079	1,844	2,693	2,664	29	2,493
目的	的積立金取崩	333	137	995	0	0	0	0
	計	18,813	20,494	21,530	21,129	19,720	1,409	21,126
支	#					大学	高専	
業	務費	16,252	15,402	16,487	16,924	15,586	1,338	16,893
	教育研究費	13,187	12,573	13,505	14,557	13,498	1,059	14,225
	一般管理費	3,065	2,829	2,982	2,367	2,088	279	2,668
施設整備費		506	1,486	1,497	1,549	1,549	0	1,640
補助金等		130	872	1,568	0	0	0	0
	産学連携等研究経費 及び寄付金事業費等		1,968	1,977	2,460	2,431	29	2,593
	計	18,750	19,728	21,529	20,933	19,566	1,367	21,126

<平成23年度収入(決算)>

産学連 携及び 寄付金 収入 9% 自己収 28% 運営費 交付金 56% 施設整 備費補 助金 7%

〈平成23年度支出(決算)〉



5 基金

〇基金事業の概要

H21.3. 『大阪府立大学基金』を創設

H23.3. 『大阪府立大学基金』の中に特定基金として「**創基130年記念基金」**を設置 平成25年が明治16年の獣医学講習所設置から数えて130年にあたることからこの年を 「創基130年」と位置づけ、新たな発展の好機として創基130年記念事業を展開するため、 「創基130年記念基金」を設立。

地域・国際交流拠点の整備や在学生・留学生への支援充実に活用することとしている。 寄附の方法は直接寄附とふるさと納税による寄附があるが、寄附者の負担軽減の観点から ふるさと納税による寄附を積極的に呼びかけている。

〇基金の残高(平成23年度末現在)

459,915,168円(有価証券による寄附の時価・相当額を含む)

〇寄附金の受入状況(『大阪府立大学基金』創設時からの積算)

一般の寄附(下記以外)	102,275,568円(334件)
獣医臨床センター先端医療への寄附	8,470,000円(112件)
創基130年記念基金	73,914,696円(1,196件)
合計	184,660,264円(1,642件)

注) 有価証券による寄附の時価・相当額を含む。

▽創基130年記念基金年度別受入

内訳	件数(件)	金額(円)		
平成22年度	1	13,538,252		
平成23年度	1,195	60,376,444		

▽創基130年記念基金の内訳(平成23年度)

* 個人法人別

内訳	件数(件)	金額(円)		
個人	1,190	59,471,870		
法人·団体	5	904,574		

* 寄附方法別

内訳	件数(件)	金額(円)
直接寄附	500	13,290,444
ふるさと納税	695	47,086,000

〇基金の活用

▽『大阪府立大学基金』

寄附金については、寄附者の意向に沿って、大阪府立大学の発展のために有効活用。

- 国際交流事業・学生支援事業・教育研究環境の整備
- ・先端医療推進事業・創基130年記念事業・その他
- ⇒平成23年度の支出 22,227,665円

▽「創基130記念基金」

創基130年記念事業の一環として、卒業生、留学生、本学関係者はもとより、企業・研究機関・ 府民の方々が本学を拠点として研究・交流するための事業や、在学生や留学生の支援を 継続して行うために利用。

⇒平成23年度の支出 3,037,510円

6 施設

(平成24年5月1日現在)

区分	住所	土地	1			建物
巨万	生別	面積(㎡)	内容	部局	延面積(㎡)	内容
				工学部·研究科	36,492.33	A5~A11棟、A14棟、B5棟、B11棟、C6 棟、C10棟、C13棟他
	堺市中区			生命環境科学部• 研究科	30,591.25	B4棟、B6~B10棟、C7棟、C10棟、C17 ~C19棟他
	が中でし 学園町	419,814.74	校舎	理学部·研究科	10,706.94	A5棟、A6棟、A12~A14棟、C10棟他
中	1番1号	,	敷地	経済学部·研究科	5,767.05	B1棟、B3棟
百千				人間社会学部•研究科	7,802.33	A1棟、A3棟、A4棟、A14~A15棟、B3棟
中百舌鳥キャ			運動場	高等教育推進機構	13,997.54	A1棟、A3棟、A14棟、B3棟、C2棟、C5 棟、C10棟他
			農場	学術情報センター	13,204.53	C5棟
ンパ			压物	地域連携研究機構	12,268.28	C4、C8~16棟他
ス	堺市中区 学園町 1番2号	町 45,452.34		総務部・経営企画部・ 国際交流課	15,606.40	A1棟、A2棟、B2棟、C1棟他
				学生センター	8,698.55	A3棟、B12~16棟、C3棟、部室他
				21世紀科学研究機構	4,012.41	A1棟、B11棟、C10棟、C20棟、C21棟
				その他 (共用部分)	54,844.12	
	小計	465,267.08			213,991.73	
キャリンパス ス	7 羽 ^{羽曳野巾} 敷地 v 曳 3丁目 50,996.41 パ野 7乗20号 7票1.48			看護学部・研究科 総合リハビ・リテーション 学部・研究科 羽曳野キャンパス 事務所	37,072.95	A~O棟他
キャンパス	泉佐野市 りんくう 往来北 1番地の58	12,094.00	校舎 敷地 テニス コート	獣医学科·獣医学専攻	17,511.55	
専工 門業 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	寝屋川市 幸町 26番12号	101,848.57	校舎 敷地 運動場	本科(総合工学システ ム学科) 専攻科(総合工学シス テム専攻)	28,150.91	管理棟、教養棟、専門棟、工場棟、体育館、 図書館、地域連携テクノセンター他
合	計	63	0,206.06		296,727.14	

名称	延面積(㎡)
なんばサテライト教室	299.90
森ノ宮サテライト教室	57.00
中之島サテライト	428.81

7 エコキャンパスへの取組み

〇キャンパス別CO2排出量推移

+	ャンパス等	項目	H22	H23
	中百舌鳥	CO2排出量(t) 削減率(前年比)	11,414	11,093 2.8%
大学	羽曳野	CO2排出量(t) 削減率(前年比)	1,124	1,046 6.9%
入子	りんくう CO2排出量(t) 削減率(前年比)		1,780	1,590 10.7%
	合計	CO2排出量(t) 削減率(前年比)	14,318	13,729 4.1%
	高専	CO2排出量(t) 削減率(前年比)		4 59 –
法人合計		CO2排出量(t) 削減率(前年比)	14,318	14,188 0.9%

〇キャンパス別電力使用量推移

+	ャンパス等	項目	H22	H23
	中百舌鳥	電力使用量(千kWh)	25,688	25,518
	十口口河	削減率(前年比)		0.7%
	羽曳野	電力使用量(千kWh)	1,985	1,899
大学	初及却	削減率(前年比)		4.3%
八子	りんくう	電力使用量(千kWh)	3,483	3,001
	970	削減率(前年比)		13.8%
	合計	電力使用量(千kWh)	31,156	30,418
		削減率(前年比)		2.4%
	高専	電力使用量(千kWh)	-	1,084
法人全体		削減率(前年比)	_	_
		電力使用量(千kWh)	31,156	31,502
	ムハエ仲	削減率(前年比)		-1.1%

- 注) 1. CO2の排出量は、大阪府の温暖化対策指針にて定められた排出係数 (平成21年3月改定分)を基に算出。
 - 2. 平成23年度、高専が本法人設置となる。植物工場稼動開始。

8 評価

1. 法人評価(第三者評価) ≪地方独立行政法人法第28条、第30条≫

〇大阪府地方独立行政法人評価委員会が行う評価(年度評価及び中期目標期間評価)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	中期目標期間 (H17~22)
	大学の教育研究 等の質の向上	計画 どおり	計画 どおり	計画 どおり	計画 どおり	計画 どおり	計画 どおり	А
	業務運営の改善 及び効率化	Α	Α	Α	Α	А	Α	Α
大項 目評	財務内容の改善	Α	Α	Α	Α	Α	Α	Α
価	自己点検・評価及 び当該状況に係 る情報の提供	Α	Α	Α	Α	Α	Α	А
	その他業務運営	Α	Α	Α	Α	Α	Α	Α
i	総合評価	各年度と 「 全体と し ている。」		計画及び	中期計画	iのとおりI	こ進捗し	「全体として、中期目 標を十分に達成してい る。」

「大学の教育研究等の質の向上」は、教育研究の特性への配慮から、年度評価においては、専門的な観点からの評価は行われず、進捗状況の確認のみ。

中期目標期間評価において、認証評価機関の評価結果を踏まえ、評価される。

※大項目評価はS~Dの5段階評価

(年度計画)

(中期目標期間評価)

S:「特筆すべき進捗状況」

S:「特筆すべき達成状況」

A:「計画どおり」

A:「目標どおり達成」

B:「おおむね計画どおり」 C:「やや遅れている」 B:「おおむね目標どおりに達成」 C:「目標を十分には達成できていない」

D:「重大な改善事項あり」

D:「目標をまったく達成できていない」

2. 認証評価(第三者評価) ≪学校教育法第109条第2項(大学)、第123条(高専)≫

〇認証評価機関が行う評価(学校教育法施行令第40条に基づき7年以内毎に実施) 対象:教育研究活動や管理運営及び財務等の総合的な状況

※大学は、独立行政法人 大学評価・学位授与機構による評価を平成21年度に受審。

	評価結果
機関別認証評価	全基準(基準1~11)について「基準を満たしている」
選択的評価事項A「研究活動の状況」	「目的の達成状況が良好である」

※高専は、独立行政法人 大学評価・学位授与機構による評価を平成22年度(法人設置前)に受審。

	評価結果
機関別認証評価	全基準(基準1~11)について「基準を満たしている」
選択的評価事項A「研究活動の状況」	「目的の達成状況が非常に優れている。」
選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」	「目的の達成状況が良好である。」

3. 自己点検・評価 《学校教育法第109条第1項(大学)、第123条(高専)≫

○教育、研究、社会貢献、大学運営(管理運営)の4領域について、認証評価機関による点検・評価内容に 独自の点検・評価内容を加え実施

(公立大学法人大阪府立大学大学評価基本方針に基づき3年ごとに実施)

※大学は、法人化後2度実施。

	対象期間	公表
平成19年度実施	H17~19年度	H20年7月
平成22年度実施	H20~22年度	H23年8月

【大学】

1 理念

〇 基本理念

知識基盤社会化やグローバル化が進展する中で、ナショナル・イノベーションの担い手である大学への期待は、国内トップクラスの総合大学の多くに「大学が創出する研究成果を世界水準にする研究型大学」を指向させている。その結果、大学院教育は、アカデミアという限られた世界で活躍する学術研究者の養成の場になっているのが現状である。しかしながら、世界水準の研究を指向する大学で学んだ人材が、アカデミアのみならず地域社会や産業界などの多様な職域でも活躍することが、21世紀における知識基盤社会のさらなる発展のために不可欠である。

このような認識のもと、本学がこれまで目標として掲げてきた「高度研究型大学」を「大学の構成員すべてが世界水準の研究を目指す高い志を持ちつつ、社会の牽引役となる有為な人材を、高度な研究の場を通して教育し、輩出する大学」と位置づける。

社会の牽引役となる有為な人材の育成は、教育・研究の両輪によって実現される。「実学」と「リベラルアーツ」の伝統を有する本学は、組織的な教育体制の整備とともに、学生に対する手厚い 指導に基づく教育力および教員個々の研究力を一層深めることにより、このような人材の育成をめざす。

まず学士課程では、充実した教養教育と専門基礎教育によって人間力のある学士を育てて社会に輩出する。同時に、学士課程から博士前期課程に至るカリキュラムの連続性や融合性を重視した体系的なシステムによって博士前期課程への進学を促す。また博士前期課程においては、高度な研究を通じて行う少人数教育によって効果的な専門教育を行い、そこにおいて修得した専門知識によって社会で活躍できる高度専門職業人を養成する。さらに博士後期課程では、先進的な教育・研究を深めると同時に、地域社会や産業界との協働によって、社会を牽引する博士学位を有する人材を育成する。

公立大学としての存在意義を高め、地域に信頼される存在となるためには、地域社会や産業界を牽引する人材が本学から持続的に巣立ち、広く世界に翔く(はばたく)ことでその証を立てなければならない。それらを追求するため、日本のみならず世界の研究型大学の変革の起点となり、地域に信頼される知の拠点となるべき基本理念を表す言葉として、

高度研究型大学 ~世界に翔く地域の信頼拠点~

を掲げる。

〇 大切にする3つの視点

「高度研究型大学 ~世界に翔く地域の信頼拠点~」を実現するために大切にしたい視点として、

「多様」、「融合」、「国際」

の三つを掲げる。

2 教育研究組織

研究機構

副学長(教育担当) 副学長(地域連携担当) 学 長 副学長(国際交流担当) 副学長(学生担当) ● 大 学 院 ● 学 域 (H24年度から開設) ● 学部 機械工学科 知識情報システム学類 航空宇宙工学科 現代シ 海洋システム工学科 環境システム学類 機械系専攻 数理工学科 ステム 航空宇宙海洋系専攻 マネジメント学類 電子物理工学科 科学域 工学部 工学研究科 電子·数物系専攻 電気情報システム工学科 電気·情報系専攻 知能情報工学科 物質•化学系専攻 応用化学科 化学工学科 電気電子系学類 マテリアルエ学科 物質化学系学類 工学域 生命機能化学科 生物情報科学科 応用生命科学専攻 生命環境 生命環境 機械系学類 植物バイオサイエンス学科 緑地環境科学専攻 科学部 科学研究科 緑地環境科学科 獣医学専攻 獣医学科 獣医学類 情報数理科学科 情報数理科学専攻 生命 理学系 物理科学科 物理科学専攻 応用生命科学類 環境 理学部 分子科学科 研究科 分子科学専攻 科学域 生物科学科 生物科学専攻 緑地環境科学類 経済学 経済学科 経済学専攻 経済学部 自然科学類 経営学科 研究科 経営学専攻 言語文化学専攻 言語文化学科 人間社会 人間社会学 看護学類 人間科学科 人間科学専攻 学部 研究科 社会福祉学科 社会福祉学専攻 地域 総合リハビリテーション学類 保健 看護学 看護学部 看護学科 看護学専攻 教育福祉学類 学域 研究科 理学療法学科 総合リハビリ 総合リハビリ 総合リハビリテーション学 作業療法学科 テーション学 -ション学部 専攻 栄養療法学科 研究科 ● 全学教育研究組織 ● 教育研究施設 共通教育推進センター 工学部 高等教育 外国語教育センター 生産技術センター 推進機構 高等教育開発センター 生命環境科学部 産学官研究連携推進センター 附属教育研究フィールド 地域活性化研究センター 附属獣医臨床センター 地域福祉研究センター 地域連携 女性学研究センター 人間社会学研究科 研究機構 地域文化学研究センター 上方文化研究センター 放射線研究センター 心理臨床センター 生涯教育センター 看護学研究科 国際交流センター 療養学習支援センター 国際交流 推進機構 学術情報 センタ-21世紀科学

3 図書館・学術情報

○施設情報

●中百舌鳥キャンパス

- □学術情報センター図書館 C5棟
- □理系ジャーナルセンター B2棟
- □経済·経営·法律系図書室 B3棟6F
- □ヒューマンサイエンス系図書室 A4棟2F

▽学術情報センター図書館

開館日		開館時間	休館日
平日	授業のある日	8:30~21:00	
十口	授業のない日	9:00~19:00	│祝日、年末年始、授業の│ │ない期間の土・日曜日
土•日曜日	授業のある期間	10:00~17:00	The Control of the Co

※ 府民の方は、本学定期試験期間(前期/後期)以外 ご利用いただけます。

●羽曳野キャンパス

□羽曳野図書センター N棟

▽羽曳野図書センター

開館日		開館時間	休館日
平日	授業のある日	8:30~21:00	
平日 授業のない日		9:00~19:00	日·祝日、 年末年始
土曜日		10:30~19:00	1717 174

●りんくうキャンパス

口りんくう図書室

▽りんくう図書室

開館日	開館時間	休館日
平日	9:00 ~ 17:30	土·日·祝日、年末年始

〇利用数(学術情報センター図書館)

	H19	H20	H21	H22	H23
入館者数(人)	240,137	245,335	238,780	269,077	264,069
貸出冊数(冊)	73,119	86,098	87,035	87,154	80,445
電子ジャーナルアクセス件数	329,674	390,129	430,601	436,110	539,449

〇府民利用数(学術情報センター図書館)

	H19	H20	H21	H22	H23
府民登録者数(人)	4,363	4,224	4,453	4,729	4,674
府民入館者数(人)	21,317	21,587	21,884	25,163	24,712
府民貸出冊数(冊)	6,176	8,093	9,431	10,712	10,384

〇蔵書数

(平成24年3月末現在)

区分	図書(冊)			雑誌(タイトル数)		
运 力	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
大阪府立大学	879,858	414,574	1,294,432	10,569	6,285	16,854
うち学術情報センター	415,713	165,477	581,190	5,323	5,026	10,349

○電子ジャーナル・データベース

▽電子ジャーナル

(平成24年度)

	(1 774 - 1 727
パッケージ名	タイトル数
ABI/INFORM Complete	約3,000
Academic Search Premier	約2,100
ACS	38
APS/AIP	8
ASPP(IEEE)	145
CINAHL Plus With Fulltext	約760
Nature サイトライセンス	9
RSC e-journals collection	42
ScienceDirect	約2,000
SpringerLink	約1,900
Wiley Online Library	約1,300
日経BP記事検索サービス	約50
メディカルオンライン	約850
合 計	約12,000

▽データベース

(平成24年度)

データベース名
CiNii
Journal Citation Reports on the Web
MathSciNet
SciFinder Academic
Scopus
Web of Science: Science Citation Index Expanded
Westlaw
医中誌Web
聞蔵 DNA for Libraries
Japan Knowledge
日経テレコン21
Web OYA-bunko

注) 学内ネットワークからのみアクセス可

〇大阪府立大学学術情報リポジトリ OPERA

(Osaka Prefecture University Education and Research Archives)

大阪府立大学で生産された教育研究成果等を電子的に蓄積・保存し、インターネットを通じて学内外へ発信するシステム

▽登録数(各年度末累計)

V 显跳数(百千皮不系可)					
	H21	H22	H23		
学術雑誌論文	6	13	24		
学位論文	15	59	85		
紀要論文	3,921	5,585	6,281		
会議発表論文	0	0	0		
会議発表用資料	1	2	2		
図書	0	44	44		
テクニカルレポート	0	0	0		
研究報告書	0	0	0		
一般雑誌記事	0	0	0		
プレプリント	0	0	0		
教材	0	0	1		
その他	20	1,552	1,734		
合計	3,963	7,255	8,171		

▽アクセス数

	H21	H22	H23	
閲覧	282,429	578,299	419,728	
ダウンロード	185,432	720,513	664,310	

○特色のあるコレクション

01101010	
中尾佐助コレクション	図書3500冊 雑誌60タイトル
	各種オリジナル資料 約3000点
貴重書コレクション	14500 Ⅲ
絵巻・和装本	
日本蘭学英学資料	
山崎文庫	
上方古典芸能研究資料	
椿亭文庫	
近代文庫	

4 大学間連携

4-1 包括連携協定

連携大学	協定締結日	主な連携事業
大阪市立大学	平成19年4月26日	・産学官連携部門の相互協力 ・単位互換の実施 ・図書館の相互利用 ・高校化学グランドコンテストの共同開催 ・公開講座の共同実施
首都大学東京	平成20年7月4日	·共同研究の実施 ·人材交流
相愛大学	平成20年8月6日	・授業科目の相互履修、単位互換の実施
関西大学	平成20年11月6日	・単位互換の実施・図書館の相互利用・入試説明会の共同開催・公開講座の共同実施
京都産業大学	平成22年1月27日	・教育連携セミナーの共同実施 ・獣医学や動物生命科学分野における連携

4-2 単位互換

〇単位互換協定制度

学生が他大学との単位互換協定に基づき、他大学の科目を履修し、それを所属大学の単位として認定する制度で、本学では次のとおり単位互換を実施している。

- ●大阪市立大学・大阪商業大学との単位互換
- ●南大阪地域大学コンソーシアム加盟大学との単位互換
- ●大学コンソーシアム大阪加盟大学との単位互換

○単位互換協定に基づく授業科目の履修実績

(平成23年度)

協定先	受入人数	派遣人数
大阪市立大学·大阪商業大学	12	6
南大阪地域大学コンソーシアム	31	6
大学コンソーシアム大阪	24	14
合 計	67	26

4-3 海外学術交流協定

○学術交流協定締結数の推移

	H19	H20	H21	H22	H23
年度内	6	11	16	9	19
累計	52	63	79	88	107

〇学術交流協定校一覧

(平成23年度末現在)

国名等	協定校等名称
	カンザス州立大学
	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校
アメリカ合衆	
国	アイオワ州立大学
	フロリダ大学
	テキサス大学
アルセンチン	アルセンチン国立南部大学 ※
	トリノ大学
イタリア	パレルモ大学
イラン	テヘラン大学
	アンナ大学
インド	インドエ科大学マドラス校
	ジュンバル大学
インドネシア	パジャジャラン大学 ※
	ボゴール農科大学
#6	ケンブリッジ大学
英国	ロンドン大学
エジプト	バンハ大学
	ロイヤルメルボルン
オーストラリ	工科大学
ア	メルボルン大学
	シドニー工科大学
+=\	エラスムス大学
オランダ	ロッテルダム校
	トロント大学
	グェルフ大学
カナダ	クイーンズ大学
	オタワ大学
	仁荷大学
	仁川大学
	 江原国立大学
	韓国生産技術研究院
	金烏国立工科大学
	順天大学校
韓国	朝鮮大学
	大邱大学
	釜山国立大学
	延世大学
	型成 22年 在新規 統結

国名等	協定校等名称
	科学技術研究所
	慶一大学 ※
	建国大学 ※
カンボジア	プノンペン王立大学
スウェーデ	イェテボリ大学
ンン	カールスタッド大学
	グラナダ大学
スペイン	サラコザ大学 ※
	バルセロナ自治大学 ※
スロベニア	マリボル大学応用数学・理論物理学研究所
	キングモンクット工科大学 トンブリ校
タイ	マヒドン大学
	泰日工業大学
	タマサート大学 ※
	中央大学
	高尾第一科技大学
台湾 (R.O.C.)	国立台南大学
(14.0.0.)	国立台湾師範学校 ※
	国立台北科技大学 ※
	華南理工大学
	ハルビンエ程大学
	華東理工大学
	上海交通大学
	農業与生物学院
	上海市農業科学院
	浙江工業大学
中華人民	同済大学
共和国	福州大学
	福建農林大学
	北京外国語大学
	湖南大学
	延辺大学
	寧波工業大学
	青海民族大学 ※
	青島農業大学 ※
	カイザースラウテルン
ドイツ	工科大学
	ヴッパータール大学

	(干成23年及不统任)
国名等	協定校等名称
ニュージー ランド	マッセイ大学
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学ベルゲン大学ノルウェー国立農業環境大学 ※
フランス	カシャン高等師範学校 セルジー・ポントワーズ大学 パリ第六大学 国際情報科学技術大学院 国立高等電子応用大学院 レンヌ第1大学 国立東洋言語文化大学 パリ高等機械大学院 トゥール大学 ナンシー第2大学 ※ ポールサバティエトゥールー ズ第3大学 ※ オルレアン大学 ※ ボルド一第1大学 ※
ベトナム	ダナンエ科大学 ハノイ科学大学 ハノイエ科大学 ホーチミン国立大学 ベトナム科学技術院 環境技術研究所 ベトナム国家大学ハノイ校 ダナン大学 ベトナム中央獣医研究所 天然資源環境省環境管理科 学研究所 ※
ポーランド	ワルシャワエ科大学
マケドニア	聖キリル・メトディオス大学
マレーシア	マラッカエ科大学マレーシアエ科大学
ラオス	ラオス国立大学 ※
ロシア	極東国立経済経営 アカデミー

注) ※は平成23年度新規締結

29の国と地域、101大学・6研究機関

4-4 ダブルディグリー(海外大学)

協定校	課程	派遣数	受入数
国際情報科学技術大学院 (EISTI) (フランス)	修士	1	2
ウィスコンシン州立大学 ミルウォーキー校(米国)	学士	1	0

注) ダブルディグリー(複数学位)とは、連携先の大学との相互認定により、一定の期間中に 両大学の学位を取得できる制度。

5 教員等

5-1 教員数

〇教員数内訳(常勤·非常勤)

(平成24年5月1日現在)

第一学群	所属 人文科学系 社会科学系	34	教授 女性 外国人 11	A	±教授 女性		講師 女性		助教 女性		計
—	人文科学系	34	外国人		女性		女性		ナ性		
—	人文科学系	34	外国人		1						女性
—		34			外国人		外国人		外国人		外国人
学群	社会科学系			30	7 <u>7</u>	1	<u></u>	0	<u> </u>	65	19
Ψ1		10		15	3	0		0		25	3
	機械系	13		9		1		11	1.	34	1
	航空宇宙 海洋系	11		12		0		8	1	31	1
	電子数物系	7		6		0		7	1	20	1
	電気情報系	20	1	18	2	1		13	<u>2</u> 1	52	<u>5</u> 1
竻	物質化学系	26		19		3		17		65	
第二学群	応用生命系	17		15	1.	1		14	1.	47	2
群	緑地環境系	8		8		2		7	1.	25	1
	獣医系	19		19	2	0		16	5.	54	
	物理系	9	1.	11		1		6		27	1
	数学系	9		8	2	3		0		20	2
	分子系	5		6		1		4		16	
	生物系	10	1	6		2		7	<u>2</u>	25	<u>5</u> 1
第三学	看護系	17	13	14	14	5	5	22	19 1	58	51 1
学 群	総合リハビリ テーション系	13	2	13	7	3	1	10	3	39	13
	高等教育 推進部門	19	6 3	17	4 2	3	1	1		40	10 6
第四	地域連携 部門	24	5	13	2	1		3		41	7
学群	国際交流 部門	1		0		0		0		1	
	戦略的研 究部門	6		3		13	<u>4</u> 1	0		22	<u>4</u> 1
	計	278	40 4	242	45 3	41	12	146	35 3	707	132 12
非	常勤講師									332	81 23

5-2 研究員数

〇研究員数

(各年度延べ数)

<u> </u>				\	及
区分	H19	H20	H21	H22	H23
TA(ティーチング・アシスタント)	401	444	427	471	538
RA(リサーチアシスタント)	10	9	9	4	14
ポスドク	64	64	80	85	77
合 計	475	517	516	560	629

区分	H19	H20	H21	H22	H23
客員研究員	145	151	176	180	232
外国人研究員[内数]	[31]	[26]	[27]	[23]	[24]

〇外国籍客員研究員内訳

〇外国福谷貝切九月	H19	H20	H21	H22	H23
アジア・大洋州					
インドネシア	3	1	1	1	_
スリランカ	1	_	_	_	_
タイ	5	2	2	4	2
韓国	1	3	6	5	4
中国	8	4	6	3	7
台湾	-	_	1	_	_
フィリピン	-	1	1	_	1
ベトナム	1	-	-	_	_
ネパール	1	1	_	_	_
マレーシア	_	1	1	1	_
モンゴル	1	1	1	2	1
計	21	13	19	16	15
中東					
イラン	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1
アフリカ					
エジプト	5	3	2	1	2
ケニア	_	1	_	_	_
計	5	4	2	1	2
ヨーロッパ					
アゼルバイジャン	_	1	1	1	1
イタリア	_	_	_	_	2
クロアチア	_	1	_	_	_
スペイン	_	-	1	-	_
スロバキア共和国	_	-	1	-	_
ドイツ	1	1	1	1	2
ノルウェー	-	-	1	-	_
フランス	1	2	-	1	_
ルーマニア	1	1	-	_	_
計	3	6	5	3	5
北米	п		•		
アメリカ	1	2	-	_	1
メキシコ	_	_	-	2	_
計	1	2	0	2	1
合計	31	26	27	23	24

5-3 外国人招へい教員(ゲストプロフェッサー)

〇外国人招へい教員実績

	H23
招へい数	14

〇内訳 (平成23年度)

	所 属	受 入
1	サラゴサ大学(スペイン)	理学系研究科
2	パレルモ大学(イタリア)	理学系研究科
3	ピッツバーグ大学(米国)	理学系研究科
4	マレーシアエ科大学(マレーシア)	工学研究科
5	マヒドン大学(タイ)	看護学研究科
6	コロラド州立大学(米国)	理学系研究科
7	ポールサバティエ・トゥールーズ第3大学(フランス)	理学系研究科
8	パリ第6大学(フランス)	理学系研究科
9	ラフバラ大学(英国)	理学系研究科
10	ウィスコンシン州立大学マジソン校(米国)	生命環境科学研究科
11	ハワイ大学マノア校(米国)	人間社会学研究科
12	ヴルツブルグ大学(ドイツ)	生命環境科学研究科
13	ハノーバー医科大学(ドイツ)	生命環境科学研究科
14	サッサリ大学(イタリア)	工学研究科

5-4 教員の海外渡航

〇在外研究員派遣

	H19	H20	H21	H22	H23
派遣者数	2	4	3	2	2
派遣国	スウェーデン ドイツ	ドイツ、米国 フィンランド	米国、英国	米国 フィンランド	米国、英国

○教員の海外出張

(平成23年度)

区分			
		1ヶ月以内	1ヶ月超
工学研究科	299	296	3
生命環境科学研究科	61	60	1
理学系研究科	68	68	0
経済学研究科	26	26	0
人間社会学研究科	61	60	1
看護学研究科	21	20	1
総合リハビリテーション学研究科	9	9	0
高等教育推進機構	15	15	0
地域連携研究機構	30	30	0
21世紀科学研究機構	46	45	1
合 計	636	629	7

5-5 FD活動

OFD活動実施数(全学教員対象分)

		H19	H20	H21	H22	H23
88	FDセミナー	2	2	2	2	2
開	SD·FD "	0	1	1	0	0
催回	大学院FD //	1	0	0	0	0
数	その他FD〃	2	2	3	4	3
<i>></i> ^	合計	5	5	6	6	5
	教員	398	355	153	231	167
参	職員	62	82	72	44	22
加	学生	2	0	0	22	20
者	その他	0	25	0	0	2
	合計	462	462	225	297	221

OFD活動詳細(全学教員対象分)

(平成23年度)

	全学FDセミナータイトル	開催日	参加者
新任教員FD研修	新規着任教員対象のFD研修会 「大阪府立大学の教育課程、システムサポート、 教務の流れについて」 「授業を育てる」 「府大に入学してくる学生について」 「府大を取り巻く教育環境」 「学生のメンタルヘルスケア」	H23.5.27	教員 47名 (対象教員 61名)
第1回FDセミナー	「初年次ゼミナール」とは何か? ―パイロット授業の経験から— 「ゼミナール学びの転換」を担当された先生方か らの事例報告	H23.9.6	教員 66名 名誉教授 1名 職員 16名
第2回FDセミナー	「学生と変える大学の教育」 講師:木野 茂氏 (立命館大学共通教育推進機構教授)	H23.12.15	教員 24名 学生 6名 (工学部 5名、経済学部 1名) 職員 3名 一般 1名
学生FD懇話会	白熱教室 in 大阪府立大学 ~高橋副学長に、よりよい学習環境づくりを問う ~	H23.11.22	教員 4名 学生 14名 職員 3名
FDワークショップ	「初年次ゼミの始まりを前に ー書きあげたシラバスからもう一度考えるー」	H24.1.24	教員 26名
その他	 ・授業アンケート ・大学院教育アンケート ・一年生調査・上級生調査 ・卒業生・前期博士課程修了生アンケート ・刊行誌「FORUM」発行 ・ニュースメール配信 ・ピア授業参観制度 		

注) FD活動とは

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組みの総称。

その内容は多岐にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催など。

平成19年4月1日施行の大学設置基準等の改正により、FD活動の実施が義務化。

6 入試

6-1 入試説明会等

区 分	H22	H23	備考
オープンキャンパス参加者数	9,714	10,373	
大学ガイダンス (大学祭での開催)参加者数	381	812	なかもずキャンパス及び羽曳野キャンパスで実施。 平成23年度のなかもずキャンパスでの大学ガイダンス は大学説明会(高校生対象)を兼ねる。
大学説明会(本学主催· 高校生対象)参加者数	441	1,151	平成23年度の高校生対象説明会は大学ガイダンスを
大学説明会(本学主催· 高校教員対象)参加者数	158	227	兼ねており、重複して計上(664名分)
三大学合同入試説明会参加者数	213	326	府大の説明会のみの実績 (三大学=府大、市大、関西大)
進学相談会(業者主催)参加者 数	2,618	2,018	
高校内ガイダンス(業者主催・高 校依頼分)参加者数	1,252	2,938	
高校訪問数	30校 (延べ30回)	74校 (延べ222回)	
大学見学参加者数	1,119	1,560	高校単位での見学の受入

6-2 入学者選抜実施状況(学域)

〇一般入試選抜実施状況(平成24年度)

学域	学類区分	日程	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者
	知識情報システム学類	,	30	99	3.3	90	35
	環境システム英語小論文型		65	255	3.9	246	70
	学 類理 数 型	前期	30	115	3.8	111	35
現代システム	マネジメント学類		80	434	5.4	377	109
科 学 域	小計		205	903	4.4	824	249
	現代システム科学域	後期	30	277	9.2	116	30
	合 計		235	1,180	5.0	940	279
	電 気 電 子 系 学 類		185	2,208	11.9		360
工学域	物質化学系学類	中期	140	1,715	12.3	4,769	292
	機械系学類	干沏	126	1,752	13.9		256
	合 計		451	5,675	12.6	4,769	908
	獣 医 学 類		35	149	4.3	145	42
	応 用 生 命 科 学 類		70	250	3.6	238	79
	緑 地 環 境 科 学 類		32	69	2.2	62	33
	物理重点型	前期	22	93	4.2	91	22
	自然科学類 化学 重点型	נאל נינו	22	130	5.9	125	27
	生物 重点型		22	106	4.8	104	27
	理 科 均 等 型		22	145	6.6	142	29
生命環境	小計		225	942	4.2	907	259
科 学 域			5	191	38.2	149	7
	応 用 生 命 科 学 類		20	107	5.4	66	21
	禄 地 環 境 科 学 類	後期	10	45	4.5	45	17
	物理重点型		7	160	22.9	103	14
	自然科学類化学重点型		7	244	34.9	138	9
	生物重点型		7	134	19.1	85	11
	小計		56	881	15.7	586	79
	<u></u>		281	1,823	6.5	1,493	338
	看 護 学 類		50	117	2.3	115	53
	総合リハビリ理学療法学専攻		16	80	5.0	78 40	17
	テ ー ション作業療法学専攻 学 類 栄養療法学専攻	前期	16 16	42 53	2.6	40 51	17 16
	学 類 栄養療法学専攻 教育 福祉 学類		36	90	3.3 2.5	51 87	43
	<u> </u>		134	382	2.9	371	146
地域保健学域			154		8.9	59	15
心外怀胜于场			2	78	39.0	55	2
	総 合 リ ハ ビ リ <u>埋 字 漿 法 字 専 収</u> テ ー シ ョ ン 作 業 療 法 学 専 攻		2	25	12.5	8	2
	学類栄養療法学専攻	後期	2	39	19.5	24	2
	教育福祉学類		5	54	10.8	23	6
	小計		26	329	12.7	169	27
	合 計		160	711	4.4	540	173
総			1,127	9,389	8.3	7,742	1,698

OAO入試実施状況(平成24年度)

	学域			学科									募集人員	志願者	受験者	合格者
エ	学	域	機海	洋	械シ	ス	テ	系 ム	I	学 学	課	類 程	4	20	20	4

〇推薦入試実施状況(平成24年度)

学域		学類							募集人員	志願者	受験者	合格者	
	知	=	戠	情		TIA	ኒ	系	型	5	12	12	5
	シ	ス	テ	4	学	類王	里 :	系	型	5	36	36	5
現 代 シス テ ム 科 学 域	環	境	シ	ス	テ	ム	学	<u> </u>	類	15	50	50	15
	マ	ネ	ジ	メ	ン	۲	学	5	類	37	225	225	37
			合			計				62	323	323	62
	応	用	生	命	ì	科	学		類	10	106	106	10
生命環境科学域	緑	地	環	埻	ŧ	科	学		類	8	23	23	8
工训垛境符子域	囬		然	科	1	学	<u> </u>		類	6	28	28	6
			合			計				24	157	157	24
	看		護			学			類	55	184	184	55
	総	合リィ	ハビリ	理:	学师	療 法	学	専	攻	7	86	86	7
地域保健学域	テ	_ シ	ョン	作:	業	療 法	学	専	攻	7	30	29	7
地域床健于域	字		類	栄	養服	療 法	学	専	攻	7	44	44	7
	教	育	<u> </u>	福	祉		学		類	10	60	55	11
			合			計				86	404	398	87
	総	A Č		計						172	884	878	173

6-3 入学者選抜実施状況(研究科)

〇大学院入学者選抜(平成24年4月入学)

研究科	課程	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者
工学研究科	前期	242	471	1.9	443	405
工于明光符	後期	52	40	0.8	37	37
生命環境科学研究科	前期	83	103	1.2	100	84
工叩境境件于明九件 	後期	17	6	0.4	6	6
生命環境科学研究科(獣医学専攻)	博士	13	7	0.5	7	7
理学系研究科	前期	82	112	1.4	111	94
<u>华于</u> 宋明九件	後期	14	17	1.2	17	17
経済学研究科	前期	45	81	1.8	80	42
性为于明九件	後期	8	2	0.3	2	1
人間社会学研究科	前期	40	90	2.3	83	43
八间位去于明九件	後期	10	27	2.7	26	15
看護学研究科	前期	26	30	1.2	29	25
有皮子叫九行 【	後期	5	5	1.0	5	4
総合リハビリテーション学研究科	前期	15	26	1.7	26	18
稲亩リハビリナーション子研光科	後期	5	14	2.8	14	6
	前期	533	913	1.7	872	711
合計	後期	111	111	1.0	107	86
	博士	13	7	0.5	7	7

〇大学院入学者選抜(平成23年10月入学)

研究科	-m 10	古生1只	+ 55.4	士既决泰	可脸土	人松土
一 	課程	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者
工学研究科	前期	若干名	2	Ī	2	2
	後期	若干名	7	-	7	7
生命環境科学研究科	後期	若干名	3	_	3	3
生命環境科学研究科(獣医学専攻)	博士	若干名	4	_	4	4
理学系研究科	後期	若干名	0	-	0	0
	前期	若干名	2	_	2	2
合計	後期	若干名	10	_	10	10
	博士	若干名	4	-	4	4

6-4 入学者内訳(学域)

〇入試区分別入学手続者数(平成24年度)

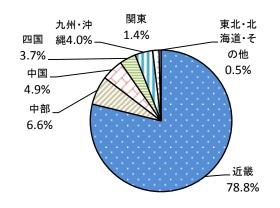
学域	入学定員	合計	一般	АО	推薦	帰国	社会人	障がい者・ 中国引揚 者等子女	外国人
現代システム科学域	300	334	267		62	0	2	0	3
工学域	455	525	515	4		3			3
生命環境科学域	305	337	311		24	1			1
地域保健学域	250	255	167		87		0	1	0
総計	1,310	1,451	1,260	4	173	4	2	1	7

〇高校所在地別入学手続者数(平成24年度)

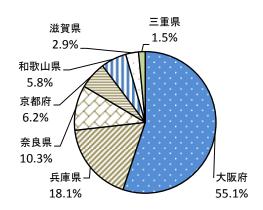
地区名	志願者	合格者	入学 手続者							
北海道	31	3	3							
東北	22	0	0							
関東	165	29	18							
中部	884	151	83							
近畿	7,025	1,267	993							
中国	568	94	62							
四国	316	70	47							
九州•沖縄	348	80	51							
その他	30	4	3							
合計	9,389	1,698	1,260							

近畿地区	志願者	合格者	入学 手続者
三重県	181	29	15
滋賀県	222	38	29
京都府	541	103	62
大阪府	3,697	657	547
兵庫県	1,288	231	180
奈良県	766	133	102
和歌山県	330	76	58
合計	7,025	1,267	993

<入学手続者出身地(地域別)>



<入学手続者出身地(近畿)>



6-5 入学者内訳(研究科)

〇入試区分別入学手続者数(平成24年4月入学)

研究科		募集定員	入学 手続者数	一般	推薦	社会人	サテライト	外国人
工学研究科	前期	242	392	388	1	0		3
- 1 917014	後期	52	34	18		11		5
生命環境科学研究科	前期	83	79	79		0		0
エルスガイナップパイ	後期	17	6	6		0		0
生命環境科学研究科 獣医学専攻	博士	13	7	5		0		2
理学系研究科	前期	82	88	87		\setminus		1
垤于 宋明九件	後期	14	17	17		0		
経済学研究科	前期	45	42	0		0	38	4
性对于例允许	後期	8	0	0		0		0
人間社会学研究科	前期	40	42	20		10		12
人间位云子听九件	後期	10	15	12		2		1
	前期	26	25	25				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	後期	5	4	4				
総合リハビリテーション学	前期	15	18	11		7		
研究科	後期	5	6	6				
	前期	533	686	610	1	17	38	20
合計	後期	111	82	63	0	13	0	6
	博士	13	7	5	0	0	0	2

〇入試区分別入学手続者数(平成23年10月入学)

研究科		募集人員	入学 手続者数	一般	推薦	社会人	サテライト	外国人
工学研究科	前期	若干名	2		1			1
	後期	若干名	7	1	\setminus	5	\setminus	1
生命環境科学研究科	後期	若干名	3	0		2		1
生命環境科学研究科 獣医学専攻	博士	若干名	4	0		4		0
理学系研究科	後期	若干名	0	0		0		
	前期	若干名	2	0	1	0	0	1
合計	後期	若干名	10	1	0	7	0	2
	博士	若干名	4	0	0	4	0	0

注)/は、当該入試制度が実施されていない部局

〇内部進学者·他大学出身者内訳

▽平成24年度4月入学(博士前期課程)

			入学者	·内訳		
博士前期課程	入学者数	自大学	他大学	出身	外国の 学校等	
		日八子	入学者数	率(%)		
工学研究科	386	375	8	2.1	3	
生命環境科学研究科	76	69	7	9.2	0	
理学系研究科	84	77	6	7.1	1	
経済学研究科	40	1	34	85.0	5	
人間社会学研究科	42	20	13	31.0	9	
看護学研究科	24	4	15	62.5	5	
総合リハビリテーション学研究科	17	2	9	52.9	6	
合 計	669	548	92	13.8	29	

▽平成24年4月入学(博士後期課程・博士課程)

		入学者内訳					
博士後期課程·博士課程	入学者数	自大学	他大学	外国の			
		日八子	入学者数	率(%)	学校等		
工学研究科	33	20	6	18.2	7		
生命環境科学研究科	6	6	0	0	0		
生命環境科学研究科(獣医学専攻)	7	5	0	0	2		
理学系研究科	16	15	1	6.3	0		
経済学研究科	0	0	0	0	0		
人間社会学研究科	15	6	8	53.3	1		
看護学研究科	4	0	3	75.0	1		
総合リハビリテーション学研究科	6	3	3	50.0	0		
合 計	87	55	21	24.1	11		

▽平成23年10月入学(博士前期課程)

		入学者内訳				
博士前期課程	入学者数	自大学	他大学	外国の		
			入学者数	率(%)	学校等	
工学研究科	2	0	0	0	2	

▽平成23年10月入学(博士後期課程・博士課程)

1 1220110717(17年区の部分1年1年1	- 11/1 11/						
		入学者内訳					
博士後期課程	入学者数	自大学	他大学	外国の			
		日八十	入学者数	率(%)	学校等		
工学研究科	7	5	1	14.3	1		
生命環境科学研究科	3	2	0	0	1		
生命環境科学研究科(獣医学専攻)	4	2	2	50.0	0		
理学系研究科	0	0	0	0	0		
合 計	14	9	3	21.4	2		

7 学生

7-1 学生数(学域・学部)

(平成24年5月1日現在)

			N						<u> </u>	
学	域・学		学類・学科	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
			知識情報システム学類	45	_	-	_	-	_	45
現			環境システム学類	119	_	-	_	_	-	119
		厶	マネジメント学類	139	_	-	_	-	-	139
科	学	域	*	31	_	-	_	-	-	31
		- 1	計	334	_	_	-	_	_	334
			電気電子系学類	201	_	_	_	_	_	201
		1	物質化学系学類	177	_	_	_	_	_	177
エ	学		機械系学類	144						144
				522		_	_	_	_	
		-	=+ =+		_	_	_	_	_	522
			獣医学類	49	_	-	-	-	_	49
牛	命環	境	応用生命科学類	108	_	_	_	_	-	108
科	学	拙	緑地環境科学類	51	_	-	_	_	_	51
	•		目然科字類	129	_	-	_	_	_	129
			計	337	_	-	-	-	_	337
			看護学類	121	_	-	_	-	-	121
抽	域保	健	総合リハビリテーション学類	76	_	_	_	_	_	76
学	-24 171		教育福祉学類	58	_	_	_	_	_	58
1		~	計	255	_	_	_	_	_	255
		!	小計	1448		_	_	_	_	1448
		_		1448	-	-	-	_	_	
			機械工学科		68	80	84	_	_	232
			航空宇宙工学科	_	43	44	45	-	_	132
			海洋システム工学科		26	31	27	_	_	84
			数理工学科		25	30	26			81
		ſ	電子物理工学科	_	46	51	54	-	_	151
エ	学		電気情報システム工学科	_	52	54	54	_	_	160
			知能情報工学科	_	48	66	49	_	_	163
			応用化学科	_	73	76	76	_	_	225
			化学工学科		34	44	41	_	_	119
		H	マテリアルエ学科							
					52	43	51	_	_	146
		_	計	_	467	519	507	-	-	1,493
		ļ	生命機能化学科		47	51	43	_	-	141
		境	生物情報科学科		29	33	24	-	_	86
生			植物バイオサイエンス学科	_	29	33	28	-	_	90
科	学	部	緑地環境科学科	_	32	34	32	-	_	98
			獣医学科	_	46	45	45	44	47	227
		ı	計	_	183	196	172	44	47	642
			情報数理科学科	_	33	47	37	_	_	117
			物理科学科	_	32	35	35	_	_	102
理	学		分子科学科	_	34	47	33	_	_	114
~±	7		生物科学科		40	42	38			120
		ŀ			139					
		_	計 (本学科	_		171	143	_	_	453
4.	- 1974 - 1974		経済学科		165	206	202	_		573
絟	済 字	部	経営学科	_	115		110		_	356
			計	_	280	337	312	_	-	929
			言語文化学科		66	69	81			216
	間社		人間科学科		90	94	115			299
学		部	社会福祉学科	_	59	62	67	_		188
		ı	計	_	215	225	263	_	_	703
_	=#+ ***	4.	看護学科	_	128	128	131	_	_	387
看	護 学	部	計	_	128	128	131	_	_	387
		_	総合リハビリテーション学科		120	120		_	_	
			総合リハビリナーション学科 理学療法学専攻				23			23
				—						-
			総合リハビリテーション学科			_	29	_		29
411	N 11		作業療法学専攻							
			総合リハビリテーション学科	_	_	_	32	_	_	32
э э) 学		栄養療法学専攻				52			
			理学療法学科	_	25	25	_	_	_	50
			作業療法学科	_	25	25	_	_	_	50
			栄養療法学科	-	30	31	-	-	_	61
		ı	計	_	80	81	84	_	_	245
		_	小計	_	1, 492	1, 657	1, 612	44	47	4, 852
			旧大学		-, 102	., 557	3			3
			合計	1. 448	1. 492	1. 657			47	
			方計 / 科学域の後期日程では、個別の学類	,	,	,	,		4/	0, 303

[※] 現代システム科学域の後期日程では、個別の学類入試を行わず、学域全体としての入試を行っている。 入学者は、2年次進学時に学類を選択する。

7-2 学生数(研究科)

(平成24年5月1日現在)

	大学院	博	士前期課	程	■ 博士後期課程・博士課			
研究科	専攻(分野)	人数	男子	女子	人数	男子	女子	
1017U17	機械系専攻	124	120	4	3	3		
	航空宇宙海洋系専攻	81	71	10	9	6	3	
	電子・数物系専攻	129	123	6	22	20	2	
工学研究科	電気・情報系専攻	171	154	17	23	21	2	
	物質・化学系専攻	228	205	23	58	57	1	
	計	733	673	60	115	107	8	
	応用生命科学専攻	122	68	54	20	18	2	
生命環境科学研究科	緑地環境科学専攻	44	29	15	13	10	3	
	計	166	97	69	33	28	5	
	情報数理科学専攻	35	32	3	6	6	0	
	物理科学専攻	50	47	3	10	10	0	
理学系研究科	分子科学専攻	43	34	9	6	5	1	
	生物科学専攻	47	34	13	18	7	11	
	計	175	147	28	40	28	12	
	経営学専攻	13	3	10	_	_	-	
経済学研究科 経済学研究科	経済学専攻(サテライト教室)	8	7	1	5	3	2	
性角子切允符	経営学専攻(サテライト教室)	76	64	12	_	ı	_	
	計	97	74	23	5	3	2	
	言語文化学専攻	30	9	21	26	9	17	
人間社会学研究科	人間科学専攻	42	8	34	43	15	28	
八间位去于明九代	社会福祉学専攻	21	11	10	24	11	13	
	青十	93	28	65	93	35	58	
看護学研究科	看護学専攻	53	11	42	35	2	33	
10000000000000000000000000000000000000	計	53	11	42	35	2	33	
総合リハビリテー	総合リハビリテーション学専攻	51	31	20	28	15	13	
ション学研究科	計	51	31	20	28	15	13	
生命環境科学研究科	獣医学専攻	_	_	_	50	30	20	
博士課程	計	_	_	_	50	30	20	
旧大学院	旧専攻	0	0	0	5	5	0	
	<u> </u>	1, 368	1, 061	307	404	253	151	

7-3 定員充足状況

課	学域・学部・研究科		入学定員			入学者数		定員充足率			
程		H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	
	現代システム科学域	_	-	300	_	_	334	-	-	1.11	
	工学域	_	_	455	_	_	525	_	_	1.15	
	生命環境科学域	_	_	305	_	_	337	_	_	1.10	
	地域保健学域	_	_	250	_	_	255	_	_	1.02	
<u> ۲۰۲</u>	計	_	_	1,310	-	_	1,451	_	_	1.11	
学士	工学部	430	430	_	471	482	_	1.10	1.12	_	
	生命環境科学部	165	165	_	180	185	_	1.09	1.12	_	
課程	理学部	125	125	_	146	142	_	1.17	1.14	_	
'	経済学部	250	250	_	288	282	_	1.15	1.13	_	
	人間社会学部	200	200	_	216	216	_	1.08	1.08	_	
	看護学部	117	117	_	120	119	_	1.03	1.02	_	
	総合リハビリテーション学部	75	75	_	75	75	_	1.00	1.00	_	
	計	1,362	1,362	_	1,496	1,501	_	1.10	1.10	_	
	工学研究科	171	242	242	350	346	392	2.05	1.43	1.62	
博	生命環境科学研究科	70	83	83	84	83	79	1.20	1.00	0.95	
士	理学系研究科	50	82	82	96	89	88	1.92	1.09	1.07	
前	経済学研究科	45	45	45	44	50	42	0.98	1.11	0.93	
期	人間社会学研究科	40	40	40	42	40	42	1.05	1.00	1.05	
課	看護学研究科	26	26	26	29	26	25	1.12	1.00	0.96	
程	総合リハビリテーション学研究科	15	15	15	15	30	18	1.00	2.00	1.20	
	計	417	533	533	660	664	686	1.58	1.25	1.29	
博	工学研究科	66	52	52	41	36	34	0.62	0.69	0.65	
士	生命環境科学研究科	35	30	30	19	24	13	0.54	0.80	0.43	
後	理学系研究科	12	14	14	9	14	17	0.75	1.00	1.21	
期	経済学研究科	8	8	8	1	2	0	0.13	0.25	0	
博	人間社会学研究科	10	10	10	19	11	15	1.90	1.10	1.50	
古	看護学研究科	5	5	5	5	7	4	1.00	1.40	0.80	
課	総合リハビリテーション学研究科	5	5	5	8	13	6	1.60	2.60	1.20	
程	計	141	124	124	102	107	89	0.72	0.86	0.72	

注) H24は秋入学者を含んでいない。

7-4 社会人学生・聴講生

(平成24年5月1日現在)

課程	学域·学部·研究科	社会人 特別選抜	長期 履修生	科目等 履修生	特別聴講 学生	研究生	特別研究 学生
	現代システム科学域	2		14			
	工学域			2			
	生命環境科学域			11			
	地域保健学域	0		11			
学	工学部				3		
±	生命環境科学部				1		
学士課程	理学部						
任王	経済学部				7		
	人間社会学部	19			2		
	看護学部						
	総合リハビリテーション学部						
	計	19	0	38	13	0	0
	工学研究科	1		1		9	5
4-1	生命環境科学研究科	0		0		5	1
博士	理学系研究科		1	0		1	6
前	経済学研究科	84	0	0			
期課	人間社会学研究科	22	19	3	1	10	6
社程	看護学研究科		6	0		1	
	総合リハビリテーション学研究科	21	36	0			
	計	128	62	4	1	26	18
	工学研究科	35					
1-45	生命環境科学研究科	9					
博士	理学系研究科	2					
後	経済学研究科	4					
期課	人間社会学研究科	18	37				
社程	看護学研究科		0				
	総合リハビリテーション学研究科	1	14				
	計	69	51	0	0	0	0
博	生命環境科学研究科(獣医学専攻)	24				7	5
博士課程	農学生命科学研究科(獣医学専攻)	2					
程	計	26	0	0	0	7	5
	合計	242	113	42	14	33	23

- 注) 1. 空欄は、当該部局において、制度がないもの。
 - 2. Oは当該部局において、制度は存在するが該当者がないもの。
 - 3. 科目等履修生は、本学の学生以外の者で、一つまたは複数の科目を履修する学生。
 - 4. 特別聴講学生は、他の大学又は短期大学との協議に基づき選考された、本学の科目を履修する学生。
 - 5. 研究生とは、特定の課題について研究を行う学生。
 - 6. 特別研究学生は、他の大学の大学院(外国の大学院等を含む。)との協議に基づき選考された、 本学の科目を履修する学生。
 - 7. 特別聴講学生、研究生は、留学生を含む。

7-5 留年者数

〇学部留年者数

(平成24年5月1日現在)

学部名	3年次留年	4年次留年
工学部	64/518	71/507
生命環境科学部	16/151	6/127
生命環境科学部(獣医学科)	4/45	4/47
理学部	28/171	23/143
経済学部	51/338	58/311
人間社会学部	2/225	39/263
看護学部	0/129	7/130
総合リハビリテーション学部	0/81	6/84
計	165/1,658	214/1,612

- ※ 生命環境科学部獣医学科については3年次留年・6年次留年
- ※ 記載は、1学年の留年者数/在籍者数

〇大学院留年者数

(平成24年5月1日現在)

-m 10	TH 1777 Feb (2)	留年者数					
課程	研究科名		うち 長期履修生				
	工学研究科	13/733	0				
	生命環境科学研究科	9/166	0				
1 =	理学系研究科	3/175	0				
博士前期	経済学研究科	9/97	0				
課程	人間社会学研究科	13/93	6				
本生	看護学研究科	5/53	2				
	総合リハビリテーション学研究科	6/51	5				
	計	58/1,368	13				
	工学研究科	4/115	0				
1-45-1	生命環境科学研究科	6/33	0				
博士	生命環境科学研究科(獣医学)	13/50	0				
後期	理学系研究科	4/40	0				
課程	経済学研究科	2/5	0				
博士	人間社会学研究科	48/93	18				
課程	看護学研究科	20/35	0				
H*/* 1-1	総合リハビリテーション学研究科	2/28	0				
	計	99/299	18				
	<u>合</u> 計	157/1,667	31				

- ※ 記載は、留年者数/在籍者数
- 注) 留年者とは、標準在学年数を超えて在籍している学生を指す。 そのため、休学者、長期履修生、また編入学の学生を含む。

7-6 退学者数

〇学部退学者数

(平成23年度)

学部名	退学者数/ 在籍者数
工学部	39/2,009
生命環境科学部	7/822
理学部	7/584
経済学部	11/1,201
人間社会学部	3/943
看護学部	3/504
総合リハビリテーション学部	2/309
合 計	72/6,372

〇大学院退学者数

(平成23年度)

課程	研究科名	退学者数/ 在籍者数
	工学研究科	13/683
	生命環境科学研究科	4/169
1 ++ _L	理学系研究科	4/185
博士 前期	経済学研究科	2/99
課程	人間社会学研究科	6/95
本性	看護学研究科	1/58
	総合リハビリテーション学研究科	1/48
	計	31/1,337
	工学研究科	5/101
1-45-1	生命環境科学研究科	4/34
博士	生命環境科学研究科(獣医学)	1/48
後期	理学系研究科	7/34
課程	経済学研究科	2/11
博士	人間社会学研究科	8/91
課程	看護学研究科	1/35
IN IT	総合リハビリテーション学研究科	0/26
	計	28/380
	合 計	59/1,717

8 留学生

8-1 留学生数

〇国·地域別外国人留学生総受入数

(平成23年度)

	学部生								大学院生									7,70=0	
国·地域	工学部	生命環境学部	理学部	経済学部	人間社会学部	看護学部	総合リハビリテー	小計	工学研究科	生命環境学研究科	理学系研究科	経済学研究科	人間社会学研究科	看護学研究科	ション学研究科 総合リハビリテー	小計	研究生	交換留学生	合計
中国	19	4	3	10	6			42	9	8	8	6	20		1	52	6	7	107
韓国					3			3				1	4			5	2	12	22
インド ネシア								0	2	1			1			4		1	5
台湾								0		2			2			4		1	5
タイ								0								0		2	2
カンボジ ア								0								0		6	6
ベトナム	2			1				3	6	1						7			10
バングラ デシュ								0	2	3						5	1		6
イラン								0	1							1			1
マレー シア	1							1	1		1					2			3
オースト ラリア								0								0		3	3
インド								0		1						1			1
スリラン カ								0		3	1					4			4
ドイツ								0	1							1		1	2
エルサル バドル								0	1							1			1
フランス								0	5		2					7		18	25
米国								0	0							0		1	1
計	22	4	3	11	9	0	0	49	28	19	12	7	27	0	1	94	9	52	204

〇留学生数推移

(各年度5月1日現在)

	H20	H21	H22	H23	H24
学部生•学域生	45	47	42	49	47
大学院生	100	99	92	92	91
研究生	12	15	12	8	14
特別聴講学生	10	16	18	23	28
合 計	167	177	164	172	180

○学域・学部・研究科別留学生数

(平成24年5月1日現在)

学域∙学部	人数
現代システム科学域	3
工学域	3
生命環境科学域	1
地域保健学域	0
工学部	21
生命環境科学部	4
理学部	2
経済学部	9
人間社会学部	4
看護学部	0
総合リハビリテーション学部	0
合 計	47

研究科	人数
工学研究科	30
生命環境科学研究科	13
理学系研究科	9
経済学研究科	8
人間社会学研究科	30
看護学研究科	0
総合リハビリテーション学研究科	1
合 計	91

〇国費·私費別留学生数

(平成24年5月1日現在)

区 分	人 数
国費	12
私 費	168
合 計	180

8-2 外国人留学生に対するチューター数

(平成23年度)

			(平成23年度)
	学部·研究科	学生チューター数	チューター利用留学生数
	工学部	2	4
	生命環境科学部	1	3
	理学部	3	7
学	経済学部	3	3
部	人間社会学部	3	4
	看護学部	1	1
	総合リハビリテーション学部	0	0
	計	13	22
	工学研究科	30	38
	生命環境科学研究科	8	12
	理学系研究科	1	1
研究	経済学研究科	0	0
科	人間社会学研究科	7	18
''	看護学研究科	0	0
	総合リハビリテーション学研究科	0	0
	計	46	69
	合計	59	91

8-3 留学生宿舎

(平成24年6月1日現在)

	(1 774= 1 1 7 7 1 1 7 7 1 1 7 7 1 1 7 7 1 1 7 7 1 1 7 7 1 1 7 7 1
区分	種類別戸数
留学生宿舎(UR)借り上げ	単身者用15戸、世帯用・シェア用20戸
留学生宿舎(民間設置)借り上げ	単身用19戸、世帯用3戸
その他借り上げ	単身用8戸

8-4 外国人留学生に対する修士・博士授与件数

博士前期課程修了者

14 T 11/3/11/4/12/19 1 D	
研究科	修了者
工学研究科	6
生命環境科学研究科	2
理学系研究科	5
経済学研究科	2
人間社会学研究科	8
総合リハビリテーション学研究科	1
計	24

博十後期課程修了者

<u> </u>	
研究科	修了者
工学研究科	2
生命環境科学研究科	3
理学系研究科	1
経済学研究科	1
人間社会学研究科	1
計	8

博士課程修了者

研究科	修了者
生命環境科学研究科(獣医学)	4

国別

学生国籍	前期	後期	博士
中国	16	2	1
バングラデシュ	1	1	2
ベトナム	1	1	ı
・	1	l	I
マレーシア	1	1	ı
中国(台湾)	1	1	ı
韓国	1	1	_
スリランカ	1		1
日本(※)	1	-	_
トルコ	_	1	_
日本(※) トルコ エジプト	_	1	_
計	24	8	4

(平成23年度)

※ 外国の在住資格を持つ学生

入試区分

, 1p1 — //			
入試区分	前期	後期	博士
外国人特別選抜入試	21	6	4
一般入試	3	2	0
計	24	8	4

9 学生支援

9-1 授業料減免•奨学金

〇授業料減免件数

(平成23年度)

	通年	前期	後期	合計
免除	89	34	62	185
免除災害	0	2	3	5
減額	22	7	18	47

注) 免除災害は、東日本大震災に伴う被災者支援に実施した授業料減免である。

〇奨学金利用件数

(平成23年度)

区分	奨学団体	学部生	大学院生
	日本学生支援機構奨学金	2,249	701
貸与	無利子(第1種)	958	560
貝子	有利子(第2種)	1,291	141
	民間奨学団体等	22	1
給付	給付 民間奨学団体(除く留学生)		36
合 計		2,387	738
	利用率(%)	37.5	43.2

〇博士後期課程特別研究奨励金

(平成23年度)

研究科	支給件数
工学研究科	76
生命環境科学研究科	53
理学系研究科	28
経済学研究科	8
人間社会学研究科	47
看護学研究科	4
総合リハビリテーション学研究科	23
合計	239

9-2 学生相談件数

○学生なんでも相談室利用件数

(平成23年度)

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
履修	1398	奨学金	246	休学•退学等	79
証明書	570	学生証	128	授業料振替	75
入試	413	就職	124	ロッカー貸出	58
教室等	343	自転車等	119	住所変更等	58
落し物	322	生協	110	その他	314
課外活動	317	健康診断等	86	合計	E 100
通学証明書等	261	学研災等	81	口前	5,102

〇学生相談室利用件数

(平成23年度)

O T T II IN T 11	1311 30				(1/2020112/
	心理	修学	その他	総件数	相談者数
面談	595	55	36	686	98
メール	668	1	6	675	53
合計	1,263	56	42	1,361	151

OWEB学生サービスセンター利用件数

(平成23年度)

教務関係	学生関係	その他	合計
126	41	57	224

9-3 授業アンケート

○授業アンケート部局別平均

(回答は1から6の6段階で評価)

H23年度 授業アンケート項目 (全学共通)	工学部	生命環境科学	理学 部	経済 学部	人間 社会 学部	看護 学部	総合リ ハピリテ -ション 学部	高等 教進機構	全体
この授業科目全体を通しての到達目標 (授業目標)を理解した上で、授業を履修 し始めましたか?	4.19	3.85	3.96	4.35	4.35	4.18	4.14	4.24	4.21
この授業にどの程度出席しましたか。	5.48	5.66	5.63	5.19	5.51	5.85	5.52	5.63	5.55
その日の授業の目標・目的が何かを理 解した上で、授業を受けていましたか?	4.10	3.96	4.00	4.18	4.37	4.27	4.51	4.27	4.20
1回あたりに平均すると、この授業の予習・復習にどれくらいの時間を費やしましたか?	2.44	1.71	2.82	2.42	2.02	1.98	2.09	2.23	2.26
授業と自宅学習によって、前回の内容を どの程度理解して、次の授業に臨むこと ができましたか?	3.93	3.64	3.81	3.75	4.19	4.00	3.88	4.03	3.96
この授業科目全体を通しての到達目標を、あなたはどの程度達成できたと感じていますか?	4.40	4.28	4.15	4.27	4.58	4.40	4.39	4.47	4.41
この授業にどの程度満足していますか。	4.39	4.61	4.16	4.44	4.88	4.66	4.61	4.43	4.48

注) 平成23年前期・後期の授業アンケートの結果を集計。 回答率7.2%(回答数8,325/延べ受講者数115,983)

○授業の良かった点・改善してほしい点

					140 414				علاد الله		334 tL
H23年度 授業アンケート項目 (全学共通)	シラ パス	授業 計画	成績 評価 方法	配布教材	授業 中環境 維持	説明 の 仕方	板書 の 仕方	授業 内容	授業 時間 外習	宿題 の量	学生 に対す る接し 方
この授業の良かった点(%)	9.8%	27.2%	25.6%	25.2%	16.8%	37.0%	14.1%	50.9%	6.6%	17.2%	31.9%
この授業で、改善したほうがよいと思う 項目 (%)	2.1%	4.8%	6.3%	6.2%	4.7%	10.1%	11.7%	6.3%	4.3%	5.0%	4.1%

注) 全回答数8,325。選択肢から複数回答。

9-4 学長顕彰(学生)

	H19	H20	H21	H22	H23
団体表彰(グループ)	4	10	15	13	10
個人表彰 (人)	68	98	93	93	97
感謝状 (人)	11	7	3	2	3
合 計	83	115	111	108	110

9-5 学生の海外派遣

(単位:人)

			(十四・八)
留学の種別	H21	H22	H23
中~長期(半年以上)の 交換留学	12	12	11
短期研究留学			8
ショートビジット・ ショートステイ			77
語学研修・短期プログラム (スタディーツアー)	50	73	104
合 計	62	85	200

注) 1. 中~長期(半年以上)の交換留学

全学生を対象とし、1学期または1年間で海外留学を経験するもの。 派遣先大学では、外国人学生向けの語学コースが用意され、本学とは相互に学生を派遣する。

2. 短期研究留学

2ヶ月~6ヶ月間、学術交流協定締結校に研究を目的として交換留学をするもの。 大学院生を対象とする。

- 3. ショートビジット・ショートステイ
 - (独)日本学生支援機構によって採択された、3ヶ月未満の留学プログラム。
- 4. 語学研修・短期プログラム(スタディーツアー) 長期休暇中に実施する集中講義で、海外大学での語学研修プログラム。

9-6 インターンシップ参加者数

〇インターンシップ科目単位認定者数

(平成23年度)

学部	科目数	単位取得者数
工学部	4	15
生命環境科学部	2	15
人間社会学部	4	50
合 計	10	80

〇インターンシップ参加者数

(平成23年度)

学部•研究科	派遣先	参加者数
工学部	大阪府、大学コンソ(企業)	3
工学研究科	JAXA	1
生命環境科学部	徳島·農業(13名)、和歌山·農業(1名)	14
理学部	徳島·農業	1
経済学部	JAXA、大学コンソ(企業、岸和田市)	5
人間社会学部	大津市、大学コンソ(企業)、団体	5
	29	

※ 学生課キャリアサポート室によるもののみ

OTEC、Dプロ及びLプロによるインターンシップ参加者数 (平成23年度)

研究科	博士後期課程学生	ポストドクター
工学研究科	4	6
生命環境研究科	1	3
理学系研究科	5	4
人間社会学研究科	1	_
合 計	11	13

- ※ 数値は平成23年度からインターンシップを開始した学生数をカウントしている。
- ※ 上記プログラムに参加した他大学の学生2名を除く。
- 注) 1. TEC(イノベーション創出型研究者養成)とは

産業界にイノベーションをもたらす人材を育成するため I $\sim IV$ のカリキュラムを全学博士後期課程学生対象に開講(IVのみ理系3研究科対象)。企業での3カ月以上のインターンシップや企業実習をプログラムに含む。

2. Dプロ(地域・産業牽引型高度人材育成プログラム)とは

産業界を目指す博士研究者の人材育成プログラム。インターンシップを含む産学連携、高度研究、 海外展開研究の3プログラムを平成20年度から文部科学省補助金事業として実施。

3. Lプロ(地域・産業牽引型研究リーダー養成プログラム)とは

TECの履修と、地域企業との共同開発の実践的グループワークを統合した「産業牽引型リーダー」の養成プログラム。平成22年度から文部科学省補助金事業として実施。

9-7 大学院生の論文発表・学会発表等

〇大学院生の論文発表・学会発表等

(平成23年度)

	研究科名	合計数	学生数
	工学研究科	374[272]	784
	生命環境科学研究科	104[76]	251
	理学系研究科 ※	39[39]	219
論文発表数	経済学研究科	18[0]	110
	人間社会学研究科	13[2]	186
	看護学研究科	5[0]	83
	総合リハビリテーション学研究科	20[6]	74
	工学研究科	1598[416]	784
	生命環境科学研究科	288[78]	251
))/ /b# \-L	理学系研究科	290[17]	219
学術講演· 学会発表数	経済学研究科	19[0]	110
	人間社会学研究科	15[4]	186
	看護学研究科	8[4]	83
	総合リハビリテーション学研究科	70[6]	74
	工学研究科	82 [18]	784
	生命環境科学研究科	12[2]	251
A	理学系研究科	7[0]	219
学会賞 受賞件数	経済学研究科	2[0]	110
2221122	人間社会学研究科	0[0]	186
	看護学研究科	1[0]	83
	総合リハビリテーション学研究科	0[0]	74

- ※ 理学系研究科は欧文・査読付のみ
- 注) 1.[]は海外発表数
 - 2. 学生数は、平成23年5月1日現在

9-8 校友会•後援会

〇大阪府立大学校友会

卒業生に加えて、在学生、教職員(退職者を含む)及び本会の賛助者を会員とし、会員相互の親睦と交流はもとより、大学と会員の密接な連携とコミュニケーションを促進し大学へ積極的な支援を行うことを目的に、平成21年9月、各学部・学科等(前身校を含む)の同窓会の連合体であった大阪府立大学同窓会を発展的に改組して発足した。(会員数約85,000人)

〇大阪府立大学後援会

学生生活の向上と大学の発展に寄与することを目的とした、学生の保護者を主な会員とする組織。主な事業として、学生の課外活動、福利厚生や就職活動に対する援助、教育研究環境の整備に対する援助を実施している。(会員数約5,300人)

10 卒業・就職等

10-1 学位授与者数

〇学部卒業者

(平成23年度)

大阪府立大学	卒業者	累計
工学部	488	1,680
生命環境科学部	173	606
理学部	124	492
経済学部	261	1,005
人間社会学部	245	920
看護学部	123	498
総合リハビリテーション学部	67	284
合計	1,481	5,485

〇大学院修了者

(平成23年度)

大阪府立大学	博士前期		博士後期 (課程)		博士 (論		博士課程		
	H23	累計	H23	累計	H23	累計	H23	累計	
工学研究科	325	1,764	23	121	1	20	-	_	
生命環境科学研究科	75	460	8	37	4	48	10	26	
理学系研究科	90	426	5	29	0	5	-	_	
経済学研究科	40	238	4	15	0	4	-	_	
人間社会学研究科	38	218	5	29	3	5	_	_	
看護学研究科	28	145	3	10	0	0	-	_	
総合リハビリテーション学研究科	13	70	4	4	0	0	_	_	
合計	609	3,321	52	245	8	82	10	26	

〇卒業者·修了者(旧3大学) (平成23年度)

区分	学部	研究科
区刀	卒業者	修了者
(旧)大阪府立大学	6	1
大阪女子大学	0	_
大阪府立看護大学	_	_
合計	6	1

(旧)大阪府立大学卒業生総数	63,406
大阪女子大学卒業生総数	13,376
大阪府立看護大学卒業生総数	5,103

10-2 就職者数(率)・府内就職者数(率)

〇学部卒業者 (平成23年度)

学	部	卒業者数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)	府内 就職者数 (人)	府内 就職率 (%)
工学部		488	409	66	65	98.5	14	21.5
生命環境科学部		173	83	80	79	98.8	27	34.2
理学部		124	85	35	31	88.6	10	32.3
経済学部		261	3	218	207	95.0	104	50.2
人間社会学部		245	28	192	179	93.2	102	57.0
看護学部		123	1	118	117	99.2	85	72.6
総合リハビリテーション学部		67	1	64	64	100	33	51.6
合 計		1,481	610	773	742	96.0	375	50.5

〇研究科修了者 (平成23年度)

大 学	院	卒業者数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)	府内 就職者数 (人)	府内 就職率 (%)
工学研究科	前期	325	18	300	298	99.3	100	33.6
工于训充符	後期	23	0	19	18	94.7	12	66.7
生命環境科学 研究科	前期	75	7	63	62	98.4	27	43.5
	後期•博士	18	0	14	14	100	13	92.9
理学系研究科	前期	90	17	63	58	92.1	24	41.4
	後期	5	0	4	3	75.0	2	66.7
経済学研究科	前期	40	0	38	38	100	33	86.8
性海子训九件	後期	4	0	3	3	100	2	66.7
人間社会学	前期	38	8	23	20	87.0	14	70
研究科	後期	5	0	1	1	100	0	0
看護学研究科	前期	28	0	27	27	100	18	66.7
有碳子斯九件	後期	3	0	3	3	100	1	33.3
総合リハビリテー	前期	13	4	9	9	100	7	77.8
ション学研究科	後期	4	0	3	3	100	2	66.7
合 計	前期	609	54	523	512	97.9	223	43.6
	後期·博士	62	0	47	45	95.7	32	71.1

〇卒業者:修了者総計

(平成23年度)

総	計	卒業者数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)	府内 就職者数 (人)	府内 就職率 (%)
		2,152	664	1,343	1,299	96.7	630	48.5

- 注) 1. 就職率(%)=就職者/就職希望者*100
 - 2. 府内就職率(%)=府内就職者/就職者*100
 - 3. 府内就職者数は、本社が大阪府にある企業に就職した本学学生の数。

10-3 就職支援イベント開催件数

〇就職支援イベント開催件数

(平成23年度)

	就職支援イベント内容	開催 回数	参加 企業数	参加 学生数
1	就活スタートアップガイダンス・セミナー	6	-	1,423
2	仕事理解講座	22	22	1,317
3	企業説明会(合同)	17	308	3,447
4	エントリーシート添削	10	1	95
5	インターンシップガイダンス	6	-	712
6	部局別就職ガイダンス	26	_	881
7	公務員対策	6	_	133
8	先輩社会人交流セミナー	4	_	216
9	内定者によるパネルディスカッション	2	_	177
10	保護者向け進路ガイダンス	1	_	227
11	ナビ活用等関連講座	6	_	400
12	大阪府大・神戸大合同グループディスカッション研修	1	_	49
13	グループディスカッション研修	2	_	144
14	模擬面接、集団面接	30		79
	合 計	139	330	9,300

10-4 国家試験合格率

〇国家試験合格率 (平成23年度)

区分		獣医師	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	看護師	保健師	助産師	理学 療法士	作業 療法士	管理 栄養士			
府	合格率	%	新	90.5	76.5	100	99.2	94.3	91.7	100	94.4	100	
大	受験者数	人	卒	42	51	3	123	123	12	24	18	25	
	合格者数	人	の		39	3	122	116	11	24	17	25	
全	合格率	%	み	91.0	-	-	95.1	89.2	96.0	87.8	88.2	44.3	
国	合格率(合	計)	%	83.7	26.3	62.6	90.1	86.0	95.0	82.4	79.7	49.3	

10-5 教員免許等資格取得状況

〇学部生 (平成23年度)

Ŏ.		免許状の種類	Ą			取得	者数		1 // / / / /
	校種	種別	教科	工学	生命環境	理学	経済学	人間社会学	合計
			国 語					9	9
			社 会				2	15	17
	中学校	1 種	数 学	14		5			19
			理 科	2	5	8			15
			英 語					15	15
			国 語					11	11
			数学	18		5			23
			理 科	9	16	19			44
学			地理歴史				3	19	22
学部			公 民				5	27	32
	高等学校	1 種	英 語					19	19
			農業		1				1
			工業	1					1
			商 業				2		2
			情 報	1	1	3			5
			福祉					4	4
		合 計		45 0	23	40	12	119	239
		司 書 教 諭			0	0	0	3	3
		学 芸 員			5	3	0	5	13

〇大学院生 (平成23年度)

Ŏ		免許状の種類	領			取得	者数		
	校種	種別	教科	工学	生命環境	理学系	経済学	人間社会学	合計
			国 語					0	0
			社 会				0	0	0
	中 学 校	1 種	数学	2		1			3
			理 科	0	0	0			0
			英 語					0	0
			国 語					0	0
			数学	2		1			3
			理 科	0	0	0			0
			地理歴史				0	0	0
			公 民				0	0	0
	高 等 学 校	1 種	英 語					0	0
			農業		0				0
			工業	0					0
			商 業				0		0
			情 報	1		2			3
研			福 祉					0	0
研究			国 語					3	3
科			社 会				0	0	0
	中 学 校	専 修	数 学 理 科	3		1			4
			理 科	0	1	2			3
			英 語					0	0
			国 語					3	3
			数学	3		2			5
			理 科	0	2	5			7
			地理歴史				0	0	0
			公 民				0	1	1
	高等学校	専 修	英 語					0	0
			農業						0
			工業	0					0
			商 業				0		0
			情 報	0	0	0			0
			福 祉					0	0
		슴 計		11	3	14	0	7	35
:+1	空欄仕 当該	一一	过で資格が取る	日ボセナンハナク					

注)空欄は、当該学部・研究科で資格が取得できないもの。

Oは、該当学部・研究科において資格が取得できるが、その取得者がなかったもの。

11 研究実績

11-1 論文発表•学会発表等

〇教員の論文発表・学会発表等

(平成23年度)

〇教員の論文発表・字会発表寺 (平成23年度					
	研究科、機構	一人当たりの件数			
	工学研究科	2.83			
	生命環境科学研究科 理学系研究科 (欧文·査読付のみ)	1.74			
	理学系研究科 (欧文・査読付のみ)	1.87			
	経済学研究科	2.05			
	人問社会学研究科	2.00			
論文発表数	ストリーステックリュ 看雑学研究科	0.12			
	経済学研究科 人間社会学研究科 看護学研究科 総合リハビリテーション学研究科 高等教育推進機構 地域連携研究機構	1.63			
		1.00			
		1.26 3.52			
	21世紀科学研究機構	1.20			
	21世紀代子切光成性 42:文光元のも	3.32			
	経済学研究科 人間社会学研究科	0.47			
	人间社会学研究科	0.95			
査読付論文数	看護学研究科	0.46			
(自然科学系以外)	看護学研究科 総合リハビリテーション学研究科	1.63			
(=,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1. 2. 3. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	0.46			
	地域連携研究機構	C			
	地域連携研究機構 21世紀科学研究機構	C			
	ルファックには 人間社会学研究科 看護学研究科 総合リルビリテーション学研究科 宣学教育性准準集	0.95			
アカデミックジャーナルへの	看護学研究科	0.22			
掲載数	総合リハビリテーション学研究科	1.4			
(自然科学系以外)	高等教育推進機構	C			
	高等教育推進機構 地域連携研究機構				
	同等教育推進機構 地域連携研究機構 21世紀科学研究機構				
	工学研究科	9 69			
	工学研究科 生命環境科学研究科	3 86			
	理学系研究科	6.16			
	经 经 经 经 经 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	1 02			
学纸 禁 读 .	性分子的元化 1. 四分个学位为到	7.52			
学術講演• 学会発表数	経済学研究科 人間社会学研究科 看護学研究科	Z.U1			
一 子云元 仪双	1 6 子切九代 ※ヘリルパニ これ 普加売を	1.81			
	看護学研究科 総合リハビリテーション学研究科 高等教育推進機構	3.4			
	尚寺 羽 肎推進機備	2.3			
	地域連携研究機構	4.47 11.65			
	研究科、機構	件数			
	工学研究科	52			
	生命環境科学研究科	11			
	理学系研究科	3			
	経済学研究科 	5			
学会賞受賞件数	人間社会学研究科	1			
子云貝又貝什奴	看護学研究科	1			
	総合リハビリテーション学研究科	(
	高等教育推進機構	1			
	地域連携研究機構	C			
	21世紀科学研究機構	8			

注) アカデミックジャーナルとは、

日本学術会議協力学術研究団体が出版する学術誌及び学術誌出版が確立している雑誌出版社の学術雑誌。

11-2 被論文引用数

〇サイテーションインデックスによる被論文引用数

年(1月~12月)	H23
被論文引用数	8,495

- 注) 1. 2005.1.1~2011.12.31に発行され、Web of Scienceに登録された自然科学系論文4,804本を対象とする。 ((新)大阪府立大学開学は2005.4.1)
 - 2. 検索日時:平成24年8月20日午前11時時点。

11-3 著書数

〇教員による著書発行数 (平成23年度)

研究科、機構	発行件数
工学研究科	57
生命環境科学研究科	58
理学系研究科	4
経済学研究科	11
人間社会学研究科	20
看護学研究科	25
総合リハビリテーション学研究科	11
高等教育推進機構	1
地域連携研究機構	7
21世紀科学研究機構	12

注)翻訳書、出版社から発行され教科書・テキストに使用された書籍を含む。

12 教育補助金等プログラム

年度	件数	プログラム・事業名	取組名称	部局名
		特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)	大学初年次数学教育の再構築	総合教育研究機構
		がんプロフェッショナル養成プラン	6大学連携オンコロジーチーム要請プラン	看護学研究科
H19	4	大学教育の国際化推進プログラム (海外先進研究実践支援)	先端的生命科学研究の海外派遣推進事業	生命環境科学研究科
		新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム	WEB学生サービスセンター構想	学生センター
		質の高い大学教育推進プログラム	販売現場に密着した問題発掘型スタディーズ	経済学部
		大学院教育改革支援プログラム	ヘテロ・リレーションによる理学系人材育成	理学系研究科
		ナ党教育の国際ル推進プログニノ	薬物運搬体のイメージングと体内動態の解析	工学研究科
		大学教育の国際化推進プログラム (海外先進研究実践支援)	ポストハーベストの分子生物学的研究	生命環境科学研究科
H20	8	(1.5)	コンフォメーション病解析技術の習得	理学系研究科
		戦略的大学連携支援事業	実践力のある地域人材の輩出 ~大学連携キャリアセンターを核にして~	学生センター
		科学技術振興調整費	地域の大学からナノ科学・材料人財育成	工学研究科
		件子技術振典調整負	地域・産業牽引型高度人材育成プログラム	工学研究科
		教育研究高度化のための 支援体制整備事業	とことん支援しまっせ!!プロジェクト	21世紀科学研究機構
		大学教育充実のための 戦略的大学連携支援プロジェクト	相互評価に基づく学士課程教育保証システムの創出ー国公私立4大学IRネットワーク	総合教育研究機構
H21	5	大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム	動植物系教育融合による食の教育プログラム	生命環境科学研究科
		環境人材育成のための 大学教育プログラム開発事業	国際協調力を持つ環境人材育成のための教育プログラム開発事業~環境人材育成に向けた学部・大学院の一貫教育~	全学部·研究科
	教員研修モデルカリキュラム開発 プログラム		初等中等教育から高等教育に向けた 継続的キャリア教育指導者養成プログラムの開発	総合教育研究機構
		地域の科学舎推進事業 (地域活動支援)	なかもず科学の泉2010	理学系研究科
		大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム	学士教育課程における数学力育成	総合教育研究機構
	_	大学生の就業力育成支援事業	子育て教育系キャリア・コラボカ育成	人間社会学研究科
H22	7	看護職員確保対策特別事業	特定看護師養成調査試行事業実施課程(修士)	看護学研究科
		口蹄売等家客伝染症に対応した獣	産業動物分野の臨床実習の充実・強化	生命環境科学研究科
	口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣 医師育成環境の整備 		家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野の参加 型実習の充実・強化	生命環境科学研究科
		科学技術振興調整費	女性研究者支援モデル育成	全学部•研究科
		教員研修モデルカリキュラム開発プログラム	宇宙・天文を題材とした観察・実験についての教員 研修モデルプログラムの開発	工学研究科
H23	3	科学コミュニケーション連携推進事業	中高生のための模擬人工衛星作りワークショップ ~君も"はやぶさ"を作ろう! ~	工学研究科
		科学技術人材育成費補助事業	テニュアトラック普及・定着事業(機関選抜型)	工学研究科 生命環境科学研究科 理学系研究科

13 産学官連携

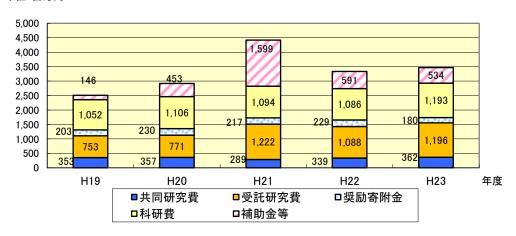
13-1 外部資金獲得状況

(金額:百万円)

/ at 150 - 14 - 21 - 37										
マハ	H,	19	H	20	H	21	H	22	H	23
区分	金額	件数								
共同研究費	353	218	357	267	289	258	339	350	362	331
受託研究費	753	158	771	152	1,222	194	1,088	157	1,196	209
奨励寄附金	203	276	230	269	217	244	229	266	180	256
科研費	1,052	371	1,106	409	1,094	411	1,086	452	1,193	535
補助金等	146	24	453	43	1,599	42	591	45	534	60
合計	2,507	1,047	2,917	1,140	4,421	1,149	3,333	1,270	3,465	1,391

注)「科研費」には分担金で受け入れた研究費の件数及び金額を含んでいる。

単位:百万円



※H21補助金等には、植物工場研究センター整備分の11億円を含む。

13-2 共同研究・受託研究(分野別)

〇分野別 (平成23年度)

分野	共同研究(件数)	受託研究(件数)	合計	割合
ライフサイエンス	100	63	163	30.2%
情報通信	13	17	30	5.5%
環境	41	22	63	11.7%
ナノ・材料	70	48	118	21.9%
エネルギー	35	11	46	8.5%
製造技術	39	24	63	11.7%
その他	33	24	57	10.5%
合 計	331	209	540	100%

13-3 共同研究・受託研究(地域・規模別)

〇地域、機関別内訳

(平成23年度)

	共同研究 (件数)	受託研究 (件数)	合計	割合
国内企業(大阪府内)	111	13	124	23.0%
国内企業(大阪府外)	158	27	185	34.2%
国外企業	2	0	2	0.4%
国·地方公共団体·特殊法人·独立行政法人等	60	169	229	42.4%
合計	331	209	540	100%

〇会社の規模別内訳

(平成23年度)

	共同研究 (件数)	受託研究 (件数)	合計	割合
中小企業 ※	107	20	127	41.1%
大企業	162	20	182	58.9%
合計	269	40	309	100%

[※]中小企業基本法における中小企業の範囲

(例えば製造業の業種→資本(出資)額3億円以下、従業員数300人以下)

13-4 科研費等(分野別)

〇研究種目別内訳 (平成23年度)

	(1 774== 1 727
	件数
特定領域研究	5
新学術領域研究	13
基盤研究(S)	5
基盤研究(A)	28
基盤研究(B)	110
基盤研究(C)	206
挑戦的萌芽研究	54
若手研究(A)	5
若手研究(B)	58
研究活動スタート支援	10
特別研究員奨励費	25
合計	519

〇厚生労働科学研究費補助金

(平成23年度)

	件数
食品の安全確保推進研究事業	3
エイズ対策研究事業	3
平成23年度政策創薬総合研究事業	2
医療技術実用化総合研究事業	2
地球規模保健課題推進	2
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	1
認知症対策総合研究事業	1
障害者対策総合研究事業	1
合計	15

〇廃棄物処理等科学研究費補助金(平成23年度)

	件数
廃棄物処理等科学研究費補助金	1

13-5 国プロジェクト採択件数

分野	H21	H22	H23
ライフサイエンス	1	1	0
情報通信	0	3	0
環境	1	1	1
ナノ・材料	3	2	2
その他	5	5	3
合計	10	12	6

注)上記の件数は、国の省庁及び独立行政法人からのプロジェクトで、採択費が1,000万円以上のものをカウントしている。

13-6 技術相談件数

	H21	H22	H23
技術相談件数	809	658	721
企業訪問件数	388	227	212

13-7 知的財産管理

〇特許権取得状況

	H21	H22	H23
特許出願件数	172	152	111
特許権取得累計件数	60	89	150

〇ロイヤリティ収入

	H21	H22	H23
件数	19	20	24
獲得金額(千円)	21,782	14,899	14,546

注)上記金額は、本学が所有する特許権等の知的財産を企業が実施等したときに本学が得たときの収入 を記載している。

13-8 大学発ベンチャー企業

〇大学発ベンチャー企業認定件数累計

H19	H20	H21	H22	H23
15	15	16	17	17

〇大学発ベンチャー企業一覧

	企業名	認定年月日	主な業務内容	タイプ
1	(株)ジェイシーエス	平成18年2月3日※	抗菌剤、鮮度保存剤	1,2,3
2	マグマ(株)	平成18年2月3日※	溶融型ミニ高炉	1,2,3
3	(株)バイオリサーチ	平成18年2月3日※	がん治療の新薬の創製	2
4	(株)バーネット・インターナショナル	平成18年2月3日※	機能性食材・化粧品の開発の製造、販売	1,2
5	(株)エンバイオテック・ラボラトリー	平成18年2月3日※	環境浄化(ダイオキシンモノクロール)	2,3
6	(有)ダブル・ワークス	平成18年3月17日	イベント運営、HP企画制作	3,4
7	(有)IPE	平成18年2月3日※	バイオテクノロジーを応用した製品開発	1,2,3
8	(株)ヴァロール	平成18年2月3日※	植物の細胞増殖及び栽培促進の研究・開発	1,2,3
9	(株)FUDAI	平成18年2月3日※	ひとづくり・ものづくり事業	3.4
10	(有)アルゴリズミカ	平成18年2月3日※	データ通信技術の開発、販売事業	1,3
11	微生物計測システム研究所 (個人事業所)	平成18年3月27日	微生物活性を非破壊的に精度良く測定する装 置の開発、製造、販売	①、③
12	有限責任事業組合C. P. プロジェクト	平成18年9月22日	加熱水蒸気加工機による農産物、魚介水産物 等の生物資源の加工研究、開発、製造	1,3
13	(株)緑水学舎	平成18年10月16日	園芸用給水装置の研究・開発	1,3
14	(株)PS&T	平成18年9月22日	医薬品、医薬部外品、農薬、工業薬品、化粧 品、食品、洗剤に関する研究、開発	1,3
15	有限責任事業組合L&Eサイエンス	平成19年4月16日	食品、食品添加物、サプリメント、化粧品素 材、化学工業材料等の開発・製造・販売	1,3
16	(株)MiChS	平成21年10月16日	化学合成・反応用マイクロリアクターの製造・ 販売等	1,3
17	グリーンケム(株)	平成22年8月16日	メッキ製品の加工、製造及び販売、委託研究、 共同研究及びその技術の販売	1

- 注) 1. ※は、「公立大学法人大阪府立大学発ベンチャー企業取扱要綱」の施行日以前に本学ベンチャー企業として取り扱われていたものであり、要綱の施行日を認定年月日とした。
 - 2. 大学発ベンチャー企業の型
 - ①【特許による技術移転型】本学又は本学の教員が所有する特許をもとに起業する場合
 - ②【特許以外による技術移転型、研究成果活用型】
 - 本学で達成された研究成果又は習得した技術等に基づいて起業する場合
 - ③【人材育成型】
 - 本学の教員や技術系職員、学生等がベンチャー企業の設立者となったり、その設立に深く関与した起業の場合
 - ④【出資斡旋型】本学がベンチャー企業の設立に際して出資の斡旋をした起業の場合
 - ⑤【その他関係型】本学が上記以外の支援をした起業の場合

13-9 地域連携協定

連携先	協定締結日	協定内容等
【独立行政法人】		
宇宙航空研究開発機構	平成16年12月10日	研究協定
大阪府立環境農林水産総合研究所	平成19年6月22日	包括連携協定
大阪府立病院機構	平成20年3月27日	包括連携協定
大阪府立産業技術総合研究所	平成22年1月26日	包括連携協定
産業技術総合研究所	平成24年7月17日	包括連携協定
【自治体等】		
さかい新事業創造センター	平成16年4月1日	産学官連携協定
八尾市、八尾商工会議所	平成16年6月10日	産学官連携協定
堺市	平成18年7月27日	産学官連携協定
را الإ	平成20年4月11日	包括連携協定
大阪府教育委員会	平成20年3月27日	包括連携協定
大和文華館	平成20年4月17日	包括連携協定
岬町	平成23年1月19日	包括連携協定
寝屋川市	平成23年10月5日	包括連携協定 (高専とは平成17年10月7日に包括連携協定締結)
【企業等】		
堺・泉北臨海企業連絡会	平成17年9月22日	産学官連携協定
パナソニック	平成17年12月1日	産学官連携協定(締結時は松下電器産業)
シャープ	平成21年3月30日	包括連携協定
イズミヤ	平成22年2月1日	地域貢献パートナー協定
大阪府中小企業家同友会	平成22年2月24日	大阪市立大学との3者による連携協定
南海電気鉄道	平成23年2月25日	地域活性化連携に関する協定
和歌山県中小企業家同友会	平成23年3月9日	大阪市立大学との3者による連携協定
奈良県中小企業家同友会	平成23年9月27日	大阪市立大学との3者による連携協定
【金融機関】		
大阪信用金庫	平成15年6月12日	産学官連携協定
日本政策金融公庫大阪支店	平成16年10月1日	産学官連携協定(締結時は中小企業金融公庫)
近畿大阪銀行	平成16年12月28日	産学官連携協定
大阪東信用金庫	平成17年4月1日	産学官連携協定(締結時は八光信用金庫)
商工組合中央金庫(商工中金) 堺支店	平成17年9月30日	産学官連携協定(締結時は中小企業金融公庫)
りそな銀行	平成18年5月19日	産学官連携協定
みずほ銀行	平成18年7月3日	産学官連携協定
損保ジャパン	平成18年8月25日	産学官連携協定
南都銀行	平成19年8月29日	産学官連携協定
池田泉州銀行	平成20年5月22日	大阪市立大学との3者による連携協定 (締結時は池田銀行) ※泉州銀行とは平成16年3月23日に産学官連携協 定を締結。池田銀行との合併により、平成22年4月 30日をもって終了。
紀陽銀行	平成21年1月30日	産学官連携協定

14 地域連携活動

14-1 審議会委員数

(平成23年度)

	(1 /// 1 /2/
区分	委員数(人)
国	52
大阪府	112
他府県	31
市町村	215
公共機関	423
合計	833

14-2 公開講座実施状況

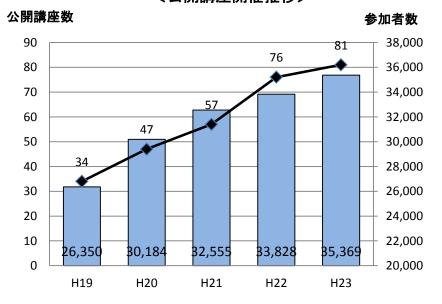
〇年度別開催状況

	H19	H20	H21	H22	H23
講座数	34	47	57	76	81
延べ受講者数 (人)	26,350	30,184	32,555	33,828	35,369

〇講座種別開催状況

各講座別件数	H19	H20	H21	H22	H23
府大講座	1	1	1	1	1
体験参加型講座	12	12	15	16	21
授業公開講座	3	16	19	29	31
部局別講座	14	14	14	23	17
その他	4	4	8	7	11
슴 計	34	47	57	76	81

<公開講座開催推移>



14-3 出前講座実施状況

	H19	H20	H21	H22	H23
講義数	19	25	24	26	34
受講者数(人)	1,270	976	1,741	2,256	2,394

14-4 高大連携出張講義

	H19	H20	H21	H22	H23
学校数(延べ数)	13	16	19	22	33
講座数(延べ数)	44	41	56	68	71
受講学生数(延べ数:人)	1947	2211	2315	2571	3241

14-5 サテライト利用状況

〇中之島サテライト利用状況

(平成23年度)

学会•研究会	会議	授業	公開講座	その他	計
150件	84件	46件	31件	37件	348件

〇森之宮サテライト教室利用状況

(平成23年度)

実習関係	研究会	勉強会	授業·指導	会議	計
17件	9件	7件	4件	3件	40件

15 大学ランキング

(平成23年度)

	名称 (実施者)	順位
世界大学ラン	QSアジア大学ランキング (英国・Quacquarelli Symonds Ltd.)	(アジア上位200位中 ; 日本の大学57校ランクイン) <u>122位、日本33位、公立大4位</u>
ランキング	AWRU世界大学ランキング (中国・上海交通大学)	(世界上位500位中;日本の大学25校ランクイン) - ※平成22年度 401~500位、日本18位、公立大1位
	研究成果最適展開支援 プログラム採択数 (科学技術振興機構)	(全国大学·研究機関218位中) <u>1位、76件</u>
研究	科学研究費件数 {新規採択+継続分} (文部科学省)	33位、362件、公立大3位 <u>※新規採択数:30位、165件、公立大1位</u>
九	大学等における産学連携 等実施状況(文部科学省)	(全国大学上位30校発表) ◎共同研究件数 <u>11位、公立大1位</u> ◎受託研究件数 - ◎特許権出願件数(外国分含む) <u>14位、公立大1位</u> ◎特許権実施料収入 <u>24位、公立大1位</u>
地域貢献	地域貢献度ランキング (日経グローカル)	◎総合ランキング(489位中) 19位、公立大4位◎住民項目ランキング 2位、公立大1位◎企業・行政項目ランキング 19位、公立大5位
情報開示	全国大学サイト ユーザビリティ調査 (日経BPコンサルティング)	◎総合スコア(211位中) <u>1位</u>

【高専】

1 理念

〇 使命(ミッション)

- 創造力のある実践的技術者を養成する
- ・産業および地域に貢献する

〇教育理念

·自律 ·実践 ·協調

〇教育方針

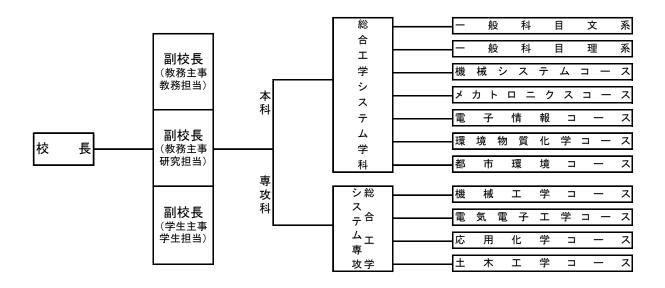
「自律」は、心身を鍛え、自らを律し、物事を多元的に理解できる幅広い視野と教養を基礎として、目下の課題を自覚し、それを達成するために、自ら考え、学び、行動できる自律性をもった人材を養成することを意味します。

「実践」は、学び考えたことを、積極的に行動にうつし、たとえ失敗してもその失敗を活かして、目的を達成するためのよりよい方法と結果をめざす、進取の気性と向上心をもった人材を養成することを意味します。

そして、「協調」は、社会や組織のなかで、自らの役割や責任を自覚し、異なる考えや立場をもった他者とも対話をもって共通理解をつくり、協力して取り組むことのできる社会性と、リーダーシップをもった人材を養成することを意味します。

これが、学習・生活・進路など、学校生活のあらゆる場面で本校教職員が共通に持つ教育方針であり、自律した人間たれ、チャレンジ精神旺盛に実践せよ、社会のなかでリーダーシップをもった人材たれという、学生諸君へのメッセージです。

2 教学組織



3 教員数

(平成24年5月1日現在)

分類	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
常勤教員	27 (0)	30 (3)	14 (4)	1 (0)	4 (0)	76 (7)
非常勤講師						53 (9)

注)()は女性教員数で、内数。

4 入試

- W	募集	志願		内 訳		
入学 年度	人員(人)	者数(人)	志願 倍率	実施方法	募集 人員 (人)	志願 者数 (人)
H20	200	252	1.26	小論文•面接	40	208
1120	200	232	1.20	学力検査	160	252
H21	200	251	1.26	小論文•面接	40	214
ПZТ	200	231	1.20	学力検査	160	250
H22	200	229	1.15	小論文•面接	40	200
ПZZ	200	229	1.13	学力検査	160	228
H23	160	283	1.77	小論文•面接	40	244
пго	100	203	1.77	学力検査	120	283
H24	40	63	1.58	小論文・面接(推薦制)	40	63
ΠZ 4	120	216	1.80	学力検査	120	216

5 学生

5-1 学生数

(平成24年5月1日現在)

(単位 人)

	組 学年	1組	2組	3組	4組	5組		計		
	1年	41(4)	41 (5)	41 (5)	40(5)	_	-	163(19)		
本	2年	41(4)	42(4)	42(4)	42(5)	_	1	168(17)		
	3年	40(4)	40(5)	40(5)	40(5)	40(5)	_	200 (24)		
	学年	機械 システム	システム デザイン	メカトロ ニクス	電子情報	物質化学	環境都市 システム	計		
科	4年	44(2)	19(1)	35(2)	46(3)	29(7)	42(3)	215(18)		
	5年	37(0)	26(6)	18(0)	38(1)	40(6)	42(7)	201 (20)		
	本 科 計									
+	学年	機械 工学	電気電子 工学	応用 化学	土木工学			計		
専 攻	1年	12(0)	6(0)	6(0)	6(0)	_	-	30(0)		
科	2年	17(0)	6(1)	3(0)	4(0)	ı	-	30(1)		
	専 攻 科 計									
		1	全校計	†				1,007 (99)		

注) () 内数字は女子学生数で、内数。

5-2 授業料減免•奨学金

(平成23年度)

	学生 総数 (人)	総数 一		奨学金 利用 学生数 (人)	割合 (%)
本 科	978	182	18.6	228	23.3
専 攻 科	59	9	15.3	6	10.2
合 計	1,037	191	18.4	234	22.6

5-3 インターンシップ参加者数

(平成23年度)

				//V=0 ///
	学生数 (人)	インター ンシップ 参加者数 (人)	うち企業 (社)	うち大学 (校)
本科4年生	215	175	156	19
専攻科1年生	32	30	20	10
合 計	247	205	176	29

6 卒業・就職等

区分	卒業年度	卒業·修 了者数 (人)	就職希望 者数(人)	就職者数	求人数(人)	求人 倍率 (求人数/就 職希望者 数)	進学者数 (人)
	H19	194	130	130	2,954	22.38	57
	H20	185	113	113	3,078	27.24	60
本科	H21	193	116	116	2,786	24.02	73
	H22	192	113	112	2,340	20.00	70
	H23	187	116	115	2,415	21.00	62
	H19	13	9	9	1,232	136.89	4
	H20	19	7	7	1,457	208.14	12
専攻科	H21	30	13	13	1,078	82.92	17
	H22	28	13	13	919	70.70	14
>> ># ># + + + + + + + + + + + + + + + +	H23	27	9	9	1,224	136.00	18

注)進学者には専門学校を含む。また、自営業等従事者は就職者から除いている。

7 産学官連携

〇外部資金獲得状況

(金額:百万円)

区分	H	19	H	20	H:	21	H	22	H:	23
四月	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数
共同 研究費	0	0	0	0	0	0	0.85	3	1.28	7
受託 研究費	1	1	2	5	2	1	0	0	0	0
奨励 寄付金	3	7	7	14	10	18	32	11	3.4	8
科研費	16	12	15	9	14	9	9	7	18	9
補助金 等	0	0	0	0	17	1	20	2	20.2	3
合計	20	20	24	28	43	29	33.05	23	42.88	27

8 地域連携活動

○公開講座・出前講座数

(平成23年度)

内 容	回数 (回)	参加人 数(人)
一般対象公開講座	1	10
児童·生徒対象公開講座	9	264
小中学校出前講座	3	99

9 FD活動

○教員のTP(ティーチング・ポートフォリオ)参加状況

TP作成者数

(平成24年3月末現在)

項目	TP作成者	うち高専在籍者	高専教員数	作成者割合
人数	44人	42人	78人	54%

※ 平成23年12月「ティーチング・ポートフォリオ スターターブック」発刊 (国内初のTP作成に関するガイドブック)

WS(ワークショップ)実施状況

(平成23年度)

実施内容	実施日	参加状況	
关	关心口	学内	学外
第1回更新WS	平成23年8月3日	3人	1人
第5回新規WS	平成23年8月10日~12日	7人	5人
第6回新規WS	平成23年12月26日~28日	3人	7人
第7回新規WS	平成24年3月1日~3日	2人	0人
第3回長期遠隔コース	平成24年3月~8月	2人	0人
第1回アカデミック・ポートフォリオ作成WS	平成24年3月1日~3日	2人	3人

※ TPはその時点での教育の実績等を記述するものであり、新規作成後も毎年更新することが望ましく、新規にTPを作成するためのWSを新規WS、TPの更新を行うためのものを更新WSと呼ぶ。

また、WSではメンティーの拘束時間は2日半と長いため、TP作成作業を長い期間に亘って分散させて行うコースを設けており、これを長期遠隔コースと呼ぶ。

※ アカデミック・ポートフォリオ作成WSは、TP作成者を対象に実施。

注)TP(ティーチング・ポートフォリオ)とは

自らの教育活動について振り返り(自己省察:Reflection)、自らの言葉で記し、多様な エビデンスによってこれらの記述を裏づけた教育業績についての厳選された記録である。

改善のため、あるいは第三者に自らが教育に注いだ努力を示すために作成する。

なお、高専では、TP-WSへの参加及びTPの公開は、教員の自主性に任せている。



〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学総務部総合戦略課 TEL072-252-1161(代) http://www.osakafu-u.ac.jp/